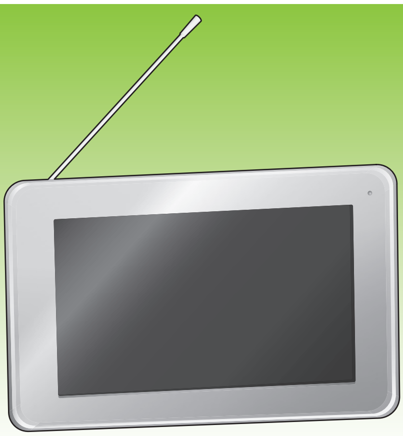
VIERA
ビエラ・ワンセグ

Panasonic

詳細操作ガイド
ポータブルテレビ

品番 SV-ME870



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●詳細操作ガイドをよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

困ったときは?

こんな表示が出たら　：116 ページ
故障かな !?　：117 ～ 121 ページ
Q&A(よくあるご質問)：122 ページ

水のかかるところでご使用の前に

8 ～ 10 ページを必ずお読みください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。

http://panasonic.jp/support/

Feature とくちょう

SV-ME870 で いろいろな扉を開こう



DIGA

DIGA

お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応の DIGA※と無線 LAN 接続して楽しめます。

P3　対応機種 P85

※DIGA（ディーガ）当社製レコーダー

music

音楽

パソコンから転送した音楽や、DIGA※などで SD カードに記録した音楽を聴くことができます。

P44、64

1seg TV

ワンセグ

ワンセグ放送を受信して、テレビを見ることができます。

P23、26

video

ビデオ

本機で録画した番組を再生したり、DIGA※やパソコンに保存している動画ファイルを本機で見ることができます。

P44、55

YouTube

YouTube

YouTube を見ることができます。

P99

photo

写真

デジタルカメラで撮影した写真を見ることができます。

P44、68

radiko.jp

radiko.jp

インターネットを通じて、ラジオ音声を聴くことができます。

NetworkMediaPlayer

ネットワークメディアプレーヤー

DLNA を使ってパソコンなどの DLNA 対応機器の動画などを楽しめます。

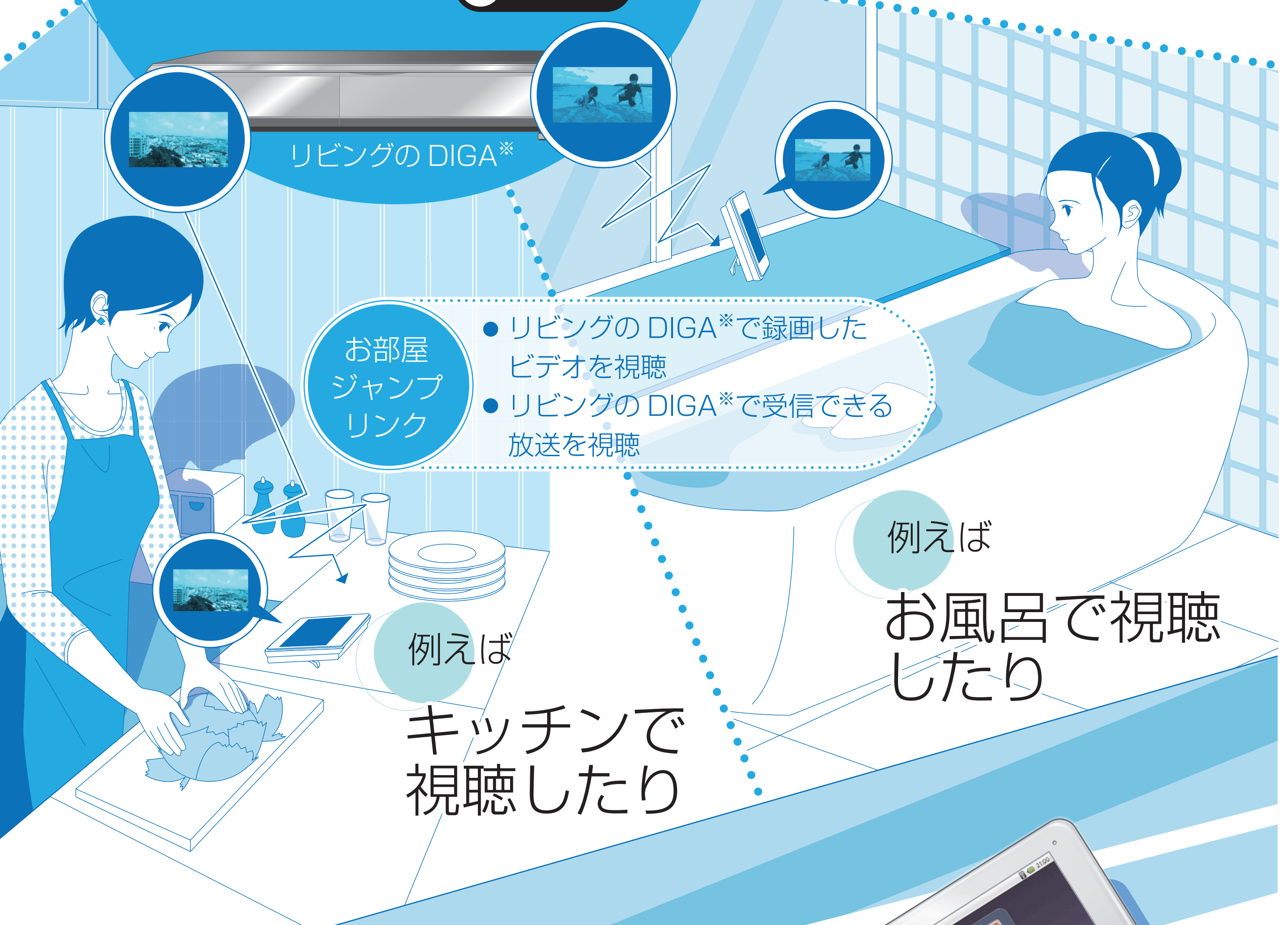
P95

戻る

お部屋ジャンプリンク対応 DIGA※と「無線 LAN 接続」して

本機能に対応しているレコーダーは、2011 年 2 月以降発売のお部屋ジャンプリンク（DLNA）対応 DIGA※のみです。

対応機種、操作については P85



例えば
好きな番組をダビングしたり
DIGA※で録画した番組を本機にダビング

例えば
お風呂で視聴したり

例えば
キッチンで視聴したり

防水仕様について

IPX6/IPX7 相当に対応しています。ご使用前に必ず 8 ～ 10 ページをお読みください。

無線 LAN 接続するには、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が必要です。



※DIGA（ディーガ）当社製レコーダー

戻る

もくじ

次のページに続く

戻る

無線 LAN 接続

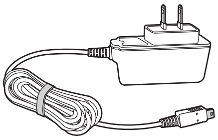
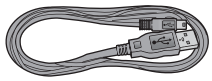
DLNA で映像を見る

インターネットを楽しむ

その他

付属品

付属品をご確認ください。
記載の品番は、2011 年 3 月現在のものです。

AC アダプター (RFEA506J) 	USB 接続ケーブル (K1HY04YY0058) 
本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。	

- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 本書では、本機で使用できるカード（P126）を **「SD カード」** と記載しています。

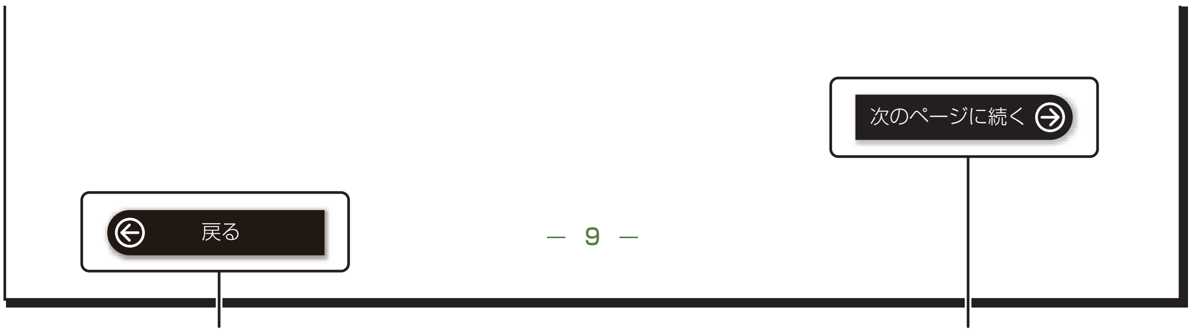
まずお読みください

■記録内容の補償はできません

- 本製品におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品および内蔵メモリーや SD カードの不具合で録画や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- 本製品を修理した場合、内蔵メモリーはお買い上げ時の状態になるときがありますので、パソコンや SD カードなどにデータのバックアップをとることをおすすめします。

■本書の見かた

- 本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
- Adobe Readerの画面上にある検索入力欄にキーワードを入力すると、入力したワードを検索し、該当ページへ移動します。
- お使いの Adobe Reader のバージョンによっては、操作方法などが異なる場合があります。



クリックすると、直前に表示していたページに戻ります。

説明が次のページに続きます。クリックして次のページもお読みください。

■本書内の表記とイラストについて

- 本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。

防水について（ご使用前に必ずお読みください）

■本機の防水性について

本機は、JIS C 0920（IEC 60529）「電気機械器具の外郭による保護等級（IP コード）」のIPX6/IPX7 相当の防水仕様となっています。

IPX6（噴流に対する保護等級）

本機から約 3 m 離れて、内径 12.5 mm のノズルであらゆる方向から約 100 L/ 分の水を 3 分以上注水したあと、本機の機能が動作することに対応しています。温水には対応していません。

IPX7（浸水に対する保護等級）

常温の水道水にて、水深 1 m に本機を静かに沈め、30 分間放置して取り出したあと、本機の機能が動作することに対応しています。水中に落下させたり、水中で操作したり、お風呂などの温水につけることには対応していません。

防水対象の液体	対応	真水、水道水
	非対応※	石けん水、シャンプー、入浴剤、洗剤、温泉水、プールの水、海水

※非対応の水中につけないでください。

■水のかかるところ（浴室や台所など）で使用するときはカード / 端子ふたをしっかり確実に閉じて以下のことをしないでください

- **AC アダプターを接続して使用しない**
  ぬれた手などで触ると感電の恐れがあります。
- **ヘッドホンを接続して使用しない**
  接続部から水が入り故障の原因になります。
- **SD カードを入れたり交換したりしない**
  水滴が付いて端子がさびるなど、故障の原因になります。

カード / 端子ふたをしっかり閉じていても以下のことをしないでください

- **故意に水の中に入れない**
  誤って湯ぶねに落とした場合は、すぐに拾って柔らかい布のようなものでふいてください。
- **石けん水やシャンプーなどの液体をかけない**
  誤ってかかった場合は、速やかに洗い流し、柔らかい布のようなものでふいてください。
  ①　常温の水道水を弱めの水量にして洗い流してください。（洗剤で洗わないでください）
  ②　ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。
- **浴室など湿気の多い場所に放置しない**
  使用後は、柔らかい布のようなもので水滴をふきとり、浴室から持ち出して室内に置いてください。
- **サウナで使用しない**
- **寒い屋外から急に浴室に入れて使用しない**
  本機が冷えた状態で、浴室など湿度の高い場所に移動させて使用したときは、つゆつきが起こり、本機内部に水滴が付くことがあります。

次のページに続く

戻る

■防水性を保つには、以下のことに気をつけて取り扱ってください

本機を落としたり、ぶつけたり、強い圧力をかけない

本機が変形や破損し、防水性が保てなくなります。

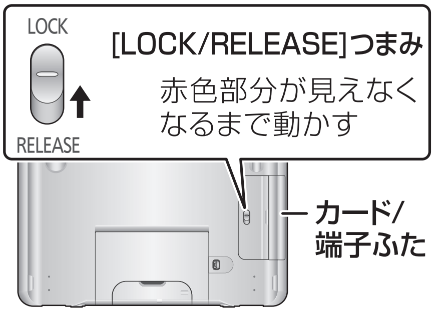
■カード / 端子ふたの取り扱いについて

ふたをしっかり確実に閉じてください。

ふたが開いたまま使用すると本機内部に水が入り故障します。以下の場合でも内部に水が入り故障します。

❶ ふたが完全に閉じられておらず、すき間がある

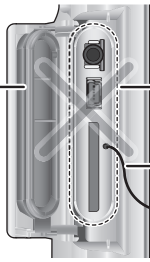
❷ ゴムパッキン（Ⓐ）、ゴムパッキンのあたるところ（Ⓑ）に毛髪、糸くず、砂、ほこりなどの異物が付着したまま閉じている



❶



❷



- カード / 端子ふたには [LOCK/RELEASE] つまみを備えています。
  ご使用前に必ず [LOCK/RELEASE] つまみの赤色部分が隠れていることを確認してください。
- ゴムパッキンにひび割れや変形がある場合は、そのまま使用しないでください。

防水性を維持するため、2 年に 1 度はゴムパッキンなどの防水に関する部品の交換（有料）をおすすめします。

- **手がぬれた状態や本機に水滴が付いたままでふたを開けたり閉めたりしないでください。**
  水滴が付いて端子がさびるなど、故障の原因になります。

次のページに続く

■水のかかるところでご使用後のお手入れ

- **本機をしっかり持ち、軽く振ってスピーカーなどに付いた水滴を落としてから、乾いた柔らかい布のようなもので本機をふいてください。**
  寒冷地で、水滴が付いたまま放置しておくと凍結し、ふたが開かなくなるなど故障の原因になります。
- **汚れがひどいときは、水に浸した布を絞ってから汚れをふき取り、そのあと乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。**
  ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室 / 浴槽洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので、使用しないでください。

万一、本機に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障の場合は保証対象外となります。なお、付属品は防水仕様ではありません。

各部の名前

メニューボタン [MENU]
現在起動しているアプリケーションで設定できるメニューを表示します。

戻るボタン [RETURN]
メニュー設定などで押すたびに前の画面に戻ります。

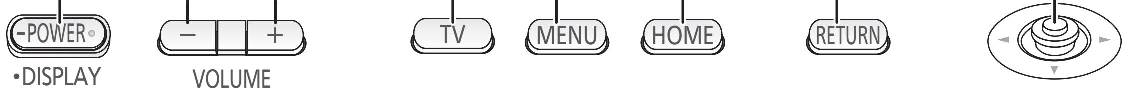
電源ボタン [-POWER]

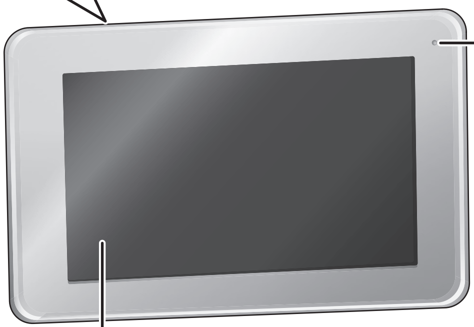
音量ボタン [VOLUME]

TV ボタン [TV]
テレビ視聴画面になります。

ホームボタン [HOME]
ホーム画面（P20）を表示します。

十字キー（P19）
チャンネル操作、再生操作、メニュー設定時などに押したり傾けて操作します。

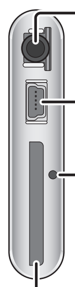




動作表示ランプ

点灯	充電中
点滅（約1秒間隔）	録画中、DLNA 対応機器から転送中
点滅（約3秒間隔）	音楽再生中

液晶モニター



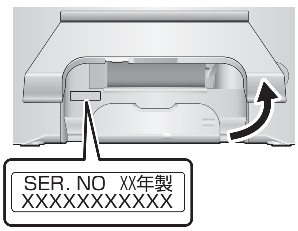
ヘッドホン端子
（∅3.5 mm ステレオミニジャック）

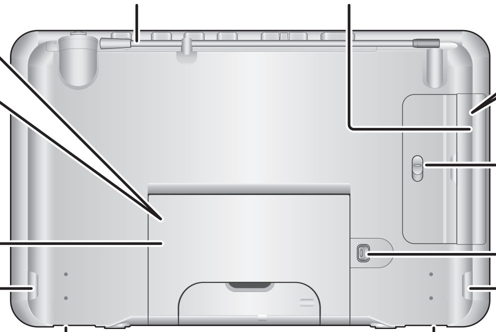
DC 入力端子（P15）/USB 端子（P48）

リセットボタン [RESET]
電源の入/切ができないなど本機が正常に動作しないときなどに、クリップのようなものを使って押してください。

カード挿入部（P13）

製造番号について
本体スタンドを開いたところに記載されています。





アンテナ（P23）

カード / 端子ふた

ロックつまみ [LOCK/RELEASE]（P9）

本体スタンド（P12）

リリースつまみ [RELEASE▶]（P12）

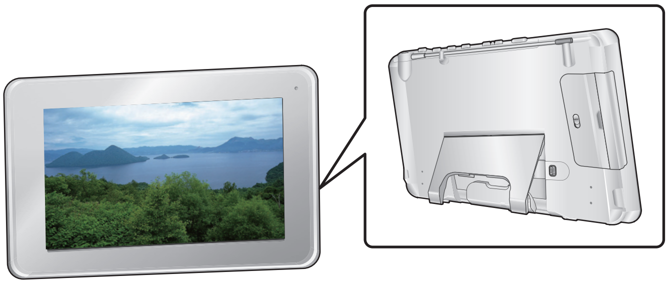
スピーカー（音孔）

戻る

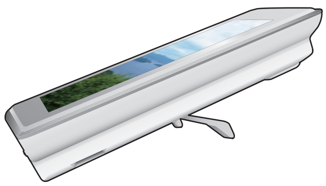
スタンドの使いかた

スタンドを使用すると、本機を手で持たずにビデオファイルやテレビ放送などを見ることができます。
スタンドは立てて使用する場合と､倒して上から映像を見る場合の２通りの使いかたができます。

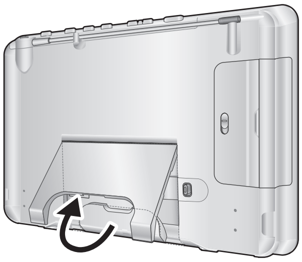
立てて使用



倒して使用



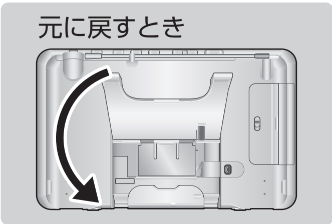
■本機を立てて使用する場合



スタンドを矢印の方向に
開いてください。

■本機を倒して使用する場合





お知らせ

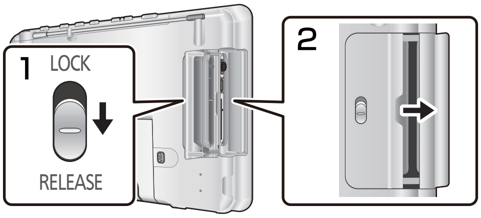
- スタンドの角度の調整はできません。
- スタンドを無理に開かないでください。スタンドが変形し破損します。
- 本機を倒して使用するときは、上から押さえつけたり重いものを載せないでください。

SD カードを入れる / 取り出す

1 カード / 端子ふたを開ける

1 [LOCK/RELEASE] つまみを [RELEASE] 側へ動かす

2 カード / 端子ふたを引き出し、開ける



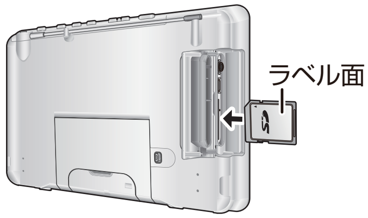
2 SD カードを入れる（取り出す）

入れるとき

SD カードの向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ奥まで入れてください。

取り出すとき

SD カードを「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出してください。



SD カードを取り出す場合

安全のためマウント（読み書き可能状態）を解除してから取り出してください。

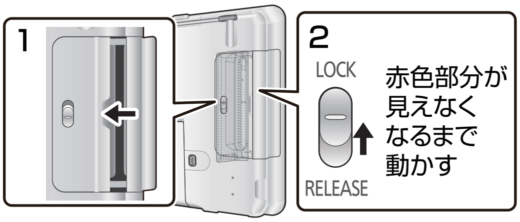
マウント解除する　☞ P112

3 カード / 端子ふたを閉じる

1 カード / 端子ふたを閉じ、まっすぐ押し込む

2 [LOCK/RELEASE] つまみを [LOCK] 側へ動かす

● カード/端子ふたが確実に閉じているかを確認してください。



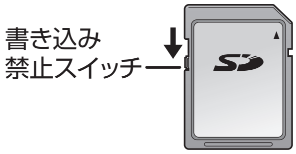
次のページに続く

microSD カード /miniSD カード

microSD カードや miniSD カードは専用のアダプターに装着して、本機に挿入してください。

SD カードの書き込み禁止スイッチ

スイッチを「LOCK」側にしておくと、SD カードへの書き込みやデータの消去、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。



お知らせ

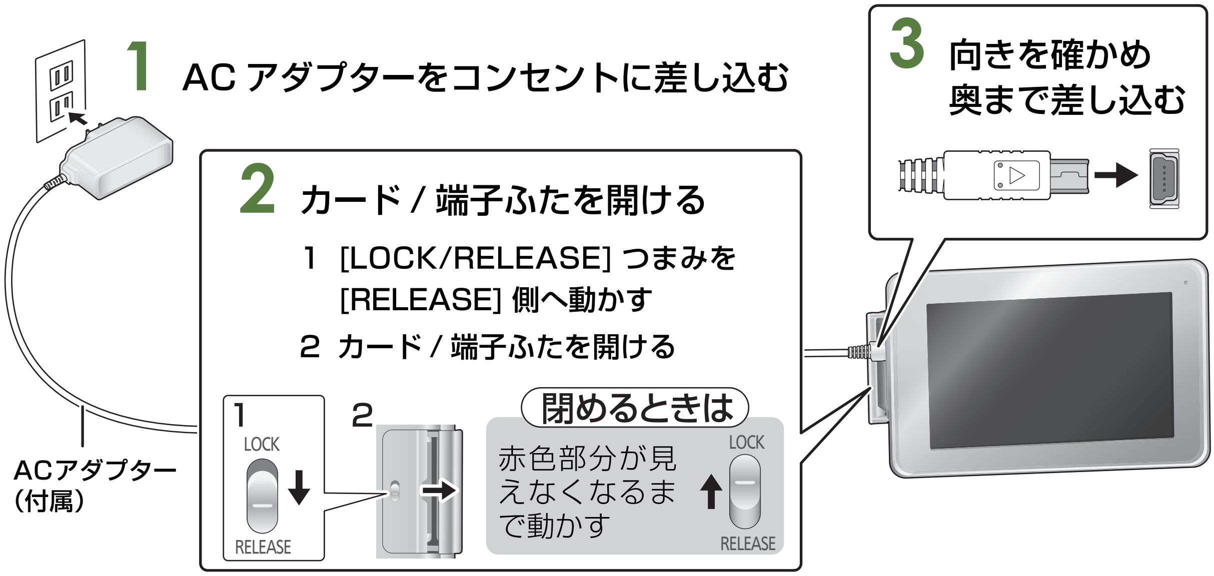
- パソコンなどのデータを SD カードに転送中や録画中、再生中は SD カードを取り出さないでください。転送中や録画中に取り出すと、SD カードの内容が破壊される場合があります。
- SD カードをご購入後はじめて使用される際は、本機で SD カードをフォーマット（P112）することをおすすめします。
- ぬれた手で SD カードを出し入れしたり、水のかかるところで出し入れをしないでください。
- 本機に水滴などが付いているときは、水滴を柔らかい布のようなものでふき取ってから SD カードを出し入れしてください。
- カード取り出しのため、マウント解除（P112）をしたあとに再度 SD カードを認識させたい場合は、SD カードを抜き差ししてください。

電源の準備をする

本機は AC アダプターを電源として使用したり、充電することができます。

AC アダプターを本機の電源として使用する

AC アダプターを使用すると、電池残量を気にせずに部屋などで長時間連続してテレビ放送などを視聴できます。



本機に水滴が付いているときは

本機に水滴などが付いた状態で AC アダプターを接続しないでください。この場合、柔らかい布のようなもので水滴をふき取ってから電源の準備をしてください。

お知らせ

- ぬれた手で AC アダプターを接続したり、水のかかるところで AC アダプターを使用しないでください。
- AC アダプターは本機専用です。必ず付属の AC アダプターを使用してください。
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- 充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。

次のページに続く

戻る

充電する

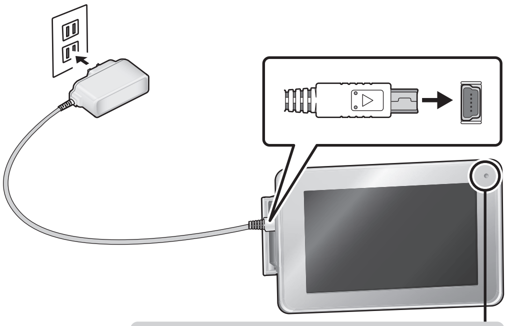
お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

● 本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。製品廃棄のとき以外は取り外さないでください。

電源を切った状態、もしくはスタンバイ状態で AC アダプターに接続する（P15）

電源を切る / スタンバイ状態にする　P17

エコ充電の設定をする　P106



充電中は
動作表示ランプが点灯します。

充電が完了すると
動作表示ランプが消灯します。

■充電時間について

充電時間 （周囲温度 25 ℃ / 電池を使い切った状態で、電源「切」もしくはスタンバイ状態で充電時）	約 7 時間
充電回数	約 500 回

■本機使用中の充電について

本機使用中でも充電されますが、満充電になるまで約 9 時間かかります。

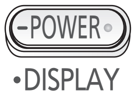
充電中の電池残量表示

充電中　：「」　　**充電完了**：「」

電源を入れる / 切る

電源を入れる

[-POWER] ボタンを動作表示ランプが点滅するまで押したままにする

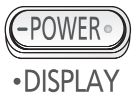


- ホーム画面（P20）が表示されるまでに数十秒かかります。

電源をスタンバイ状態にする

画面を消してスタンバイ状態にします。

[-POWER] ボタンをポンと押す



■再度画面を点灯させるには

[-POWER] ボタンをポンと押す

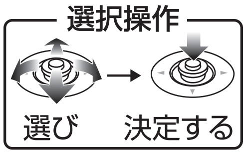
お知らせ

- 画面を消してスタンバイ状態にして音楽やradiko.jpを聴くことができます。この場合[-POWER]ボタンを押すと画面が点灯します。
- 充電する場合は、音楽や radiko.jp を停止してからスタンバイ状態にしてください。

次のページに続く

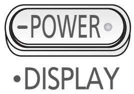
戻る

電源を切る



電源を完全に切り、電池の消耗を抑えます。

1 **確認画面が表示されるまで　[-POWER] ボタンを押したままにする**



2 **「OK」を選ぶ**

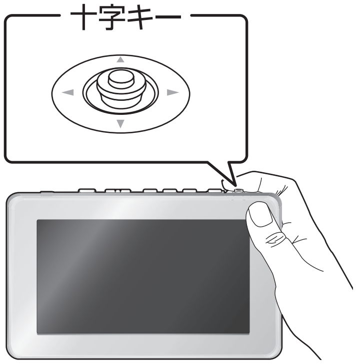
お知らせ

- 録画中に電源を切ると録画が停止されます。また、予約録画開始時刻（P34、36）やかんたん自動転送設定（P91）の開始時刻に電源が切れている場合は録画や転送はされません。この場合はスタンバイ状態にしてご使用ください。
- 画面は、一定時間操作しないでいると消灯してスタンバイ状態（P17）になります。お買い上げ時は、「10 分」に設定されています。一定時間の設定のしかたについては 110 ページをお読みください。
- 電源を切った場合は、次に電源を入れるとホーム画面が表示されるまでに数十秒かかります。

十字キーの操作方法

本機は、十字キーを操作してアイコンを選んだり、設定項目やリストからファイルを選んだりします。

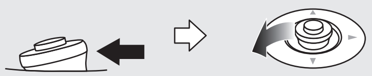
● 十字キーを操作するときは本機を手で支えながら操作してください。



本書での十字キー操作の表現

例：左に傾けるとき

実際の操作　本書での記載



十字キーの右側に指を置き、左に傾ける

例：中央を押すとき

実際の操作　本書での記載



十字キーをまっすぐ押し込む

■ 選びかた

黄色になっている部分が現在十字キーの操作で選ばれているところです。十字キーを動かすと黄色の部分が移動します。選択したいところに黄色の部分を移動させて、十字キーの中央を押して決定します。

アイコンを選ぶ



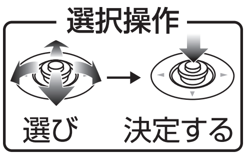
ファイルを選ぶ



戻る

ホーム画面からの基本操作

本機ではホーム画面からアイコンを選んでアプリケーションを起動したり設定画面を表示します。



準備　●電源を入れて、画面を点灯させておく（P17）

1 [HOME] ボタンを押す

HOME

ホーム画面が表示されます。

2 操作したいアプリケーションを選ぶ

ホーム画面



◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、本機の [RETURN] ボタンを押してください。

radiko.jp	インターネットを通じて、ラジオ音声を聴くことができます。 ● 配信エリアや放送局についてはradiko.jp のウェブサイトでご確認ください。 ● 終了したいときは、[RETURN] ボタンを押して「終了」を選んでください。	―
写真	本機の内蔵メモリーやSDカードに保存された写真を表示します。	P68
YouTube	動画共有サイトの動画を再生します。	P99
音楽	本機の内蔵メモリーやSDカードに保存された曲を再生します。	P64
ワンセグ	ワンセグ放送を受信します。	P23 P26
ビデオ	本機で録画した番組や、内蔵メモリーまたは SD カードに保存されたビデオを再生します。	P55
ネットワークメディアプレーヤー	DLNA を使って、パソコンや DLNA 対応機器に記録された動画や写真、音楽を本機で再生したり転送できます。	P95
DIGA	当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーのファイルを本機で視聴したり、転送することができます。	P85
設定	本機の設定や無線 LAN 接続の設定などをします。 ● ホーム画面で [MENU] ボタンを押して「設定」を選んで設定することもできます。	―

■最近使用したアプリケーションから選ぶ

最近使用したアプリケーションを 6 つまで表示します。

1 [HOME] ボタンを押したままにする

2 操作したいアプリケーションを選ぶ

お知らせ

● 本機はウェブブラウザは搭載していません。

戻る

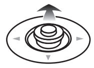
ステータスバーの表示（画面上部の表示）

本機の状態を画面上部のステータスバーにアイコンで表示します。

ステータスバー



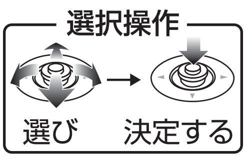
ビデオ再生中など、ステータスバーが消えているときは、十字キーを後ろに傾けると確認できます。



アイコン	説明
(読み込み中)	：メモリー（内蔵メモリー/SD カード）を読み込み中 ● 下記の場合などにメモリーを読み込みます。 ・本機の電源を入れたとき ・スタンバイ状態から復帰したとき ・SD カードを挿入したとき ・パソコンから本機を取り外したとき ● 本機の操作ができない場合は、「(読み込み中)」表示が消えてから操作してください。 ● 初めてSDカードを入れた場合やファイル数が多い場合は読み込みに時間がかかります。
(アンテナ)	：ワンセグ放送受信中の電波状況 弱 → 強
SD	：本機にSDカードが入っていることをお知らせ
(再生)	：音楽ファイル再生中
(radiko)	：radiko.jp 動作中
(USB)	：パソコンと接続中

アイコン	説明
i	：本機の最新ファームウェア更新の情報などをお知らせ
(●)	：録画中 / 録画準備中
(!)	：録画中断中 / 録画未実行のお知らせ
(時計)	：予約録画中 / 予約録画準備中
(↓)	：DLNA を使ってファイルを転送
(無線LAN)	：無線 LAN 接続中の電波状況 弱 → 強
(電池)	：電池残量表示 本機使用中の充電状態の表示 充電中：「(充電中)」 充電完了：「(充電完了)」
21:00	：時計

本機の状態を確認する



ステータスバーに「!」「↓」「i」などのアイコンが表示されているときに十字キーを操作して「通知」を選ぶと、現在本機が処理している状況や、本機の最新ファームウェア更新の情報などのお知らせを表示します。

- 通知画面で、画面右上の「通知を消去」を選ぶと通知を消去できます。
- ホーム画面で [MENU] ボタンを押して「通知」を選んで確認することもできます。

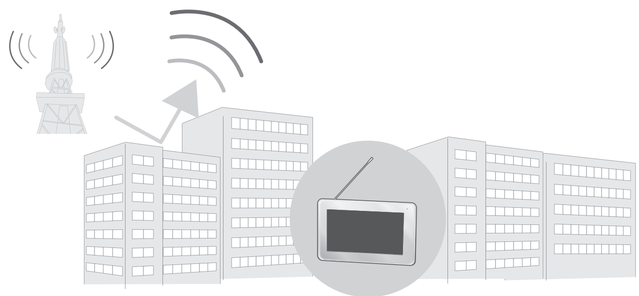


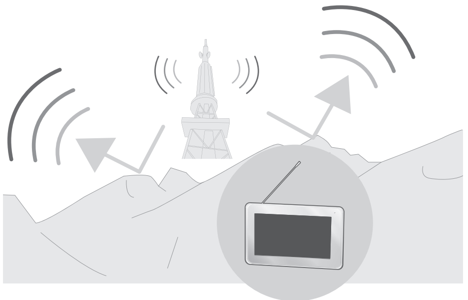
ワンセグ放送について

本機は地上デジタル放送（ワンセグ）を受信して視聴することができます。
2011年7月のアナログ放送終了後も引き続き、ワンセグのテレビ放送をお楽しみいただけます。

ワンセグ（地上デジタルテレビ放送1セグメント部分受信サービス）とは
携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、UHF 電波を使い、屋外を移動しながらでも映像と音声、さらにデータ放送を楽しめるのが特長です。2006年4月1日より、NHK および民放各社からサービスが開始されています。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります）
- ワンセグについて詳しくは、下記ホームページをご覧ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

- 緊急警報放送、データ放送サービスには対応していません。
- 画面が小さい携帯端末用の放送サービスのため、画質が粗く感じられたり、映像の動きがなめらかでないことがあります。
- 放送エリア内でも、地形や構造物といった周囲の環境、本機を使用する場所や向き、電波状況によっては受信できないことがあります。





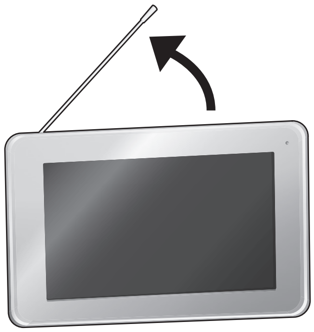
テレビを見るための準備をする

テレビを見るには、アンテナの準備とチャンネル設定が必要です。

アンテナの準備

テレビ放送を見る場合は、アンテナを立ててください。

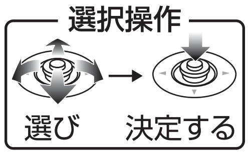
- アンテナは矢印の方向に動かしてください。液晶モニター側や本機裏面側に動かすことはできません。
- テレビを見ないときや録画をしないときは、アンテナを元の位置に戻してください。
- アンテナに無理な力を加えないでください。また、アンテナをつかんで本機を持ち運ばないでください。アンテナが破損するなど故障の原因になります。



チャンネル設定をする

お買い上げ後、初めてワンセグテレビをご利用になる場合は、まずチャンネル設定が必要です。

準備　● アンテナを立てておく



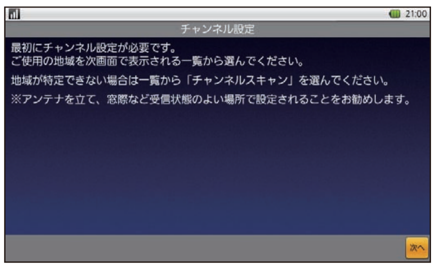
1 [TV] ボタンを押す

チャンネル設定画面が表示されます。

- [HOME] ボタンを押して、「(ワンセグ)」アイコンを選んでワンセグテレビを起動することもできます。



2 チャンネル設定の方法を確認し、「次へ」を選ぶ



次のページに続く

3 ご使用になる地域を選ぶ

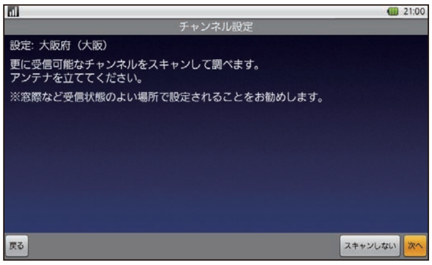
- 地域が特定できない場合は「チャンネルスキャン」を選び、手順 **5** へ進んでください。

4 ご使用になる都道府県を選ぶ

5 表示内容を確認し、「次へ」を選ぶ

選んだ都道府県とは別に現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを検索します。

- 「スキャンしない」を選ぶと、検索せずに都道府県に登録されているチャンネルのみを登録します。
- 手順 **3** で「チャンネルスキャン」を選んだ場合、「次へ」を選ぶと現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを検索します。



6 登録する放送局を確認し、「次へ」を選ぶ

- 放送局は最大 18 局まで登録できます。



7 「登録する」を選ぶ

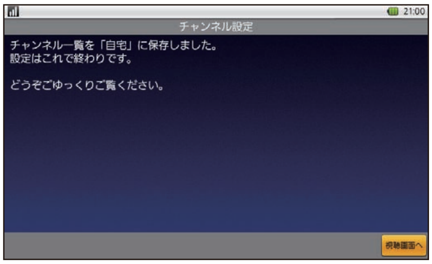
- 登録し直したいときは、「やり直す」を選んでください。



次のページに続く

戻る

8 表示内容を確認し、「視聴画面へ」を選ぶ



お知らせ

- ひとつのチャンネル内で複数の番組が放送されるサービスに対応するチャンネルがある場合は、それぞれのサービス名が表示されます。

都道府県（地域）に登録されているチャンネルについて

放送局名は、2011 年 3 月時点の放送局運用規定に基づいています。

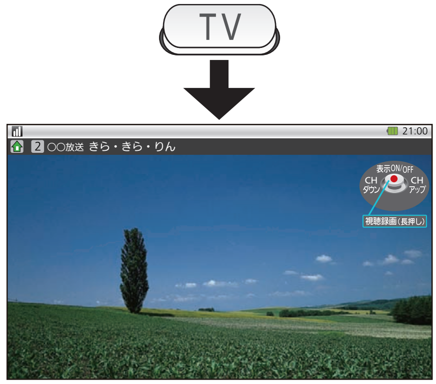
- ご使用の地域によっては、電波状況が悪いチャンネルも登録されている場合があります。
- ワンセグサービスが開始されていないチャンネルも登録されていますが、サービスが開始されるまでは視聴できません。
- 登録されているチャンネルの放送局名や周波数は、将来変更になる場合があります。

ワンセグテレビ放送を見る

準備　● アンテナを立てておく（P23）

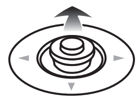
[TV] ボタンを押す

● [HOME] ボタンを押して、「（ワンセグ）」アイコンを選んでワンセグテレビを起動することもできます。
● テレビ放送を受信します。番組情報表示はしばらくすると消えます。再度表示したいときは十字キーを後ろに傾けてください。傾けるたびに表示させたり消したりすることができます。



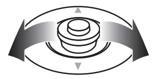
● 映像の乱れがあるときは ●
屋内などで電波状況が悪い場合、映像や音声が止まったり乱れたりします。
本機の向きやアンテナの角度、本機を置く場所を変えてみてください。

番組情報の表示 / 非表示を切り換える



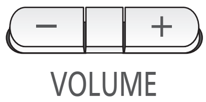
■チャンネルを選ぶ

十字キーを左右に傾ける



■音量を調整する

[VOLUME] ボタンを押す

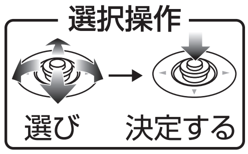


[TV] ボタンについて
他のアプリケーションを起動しているときでも、[TV] ボタンを押すとホーム画面で十字キーを操作することなく、すぐにテレビを視聴することができます。
● [TV] ボタンは、他のアプリケーションを起動しているときなど画面が点灯しているときに働きます。電源が切れていたり、スタンバイ状態のときは働きません。

お知らせ
● Wi-Fi® オンに設定していても（P80）、ワンセグテレビを起動すると Wi-Fi オフになり無線 LAN の利用はできません。（テレビ視聴をやめてホーム画面に戻ると自動的に Wi-Fi オンになりますが、切り換わるのに数秒かかる場合があります）
● テレビを視聴中に「現在のチャンネル一覧と異なる放送局を受信しています。設定を変更してください。」が表示される場合、チャンネル設定をしたときと異なる地域の放送を受信しています。チャンネルを設定し直してください。（P29）

次のページに続く

番組表を見る



1 [MENU] ボタンを押す



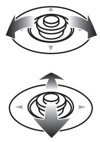
2「番組表」を選ぶ



3 番組を選ぶ

チャンネルを選ぶ：十字キーを左右に傾ける

番組を選ぶ：十字キーを前後に傾ける



- 番組表には最大 10 番組まで表示されます。
  放送局または時間帯によって、番組表の番組数が少ないことがあります。



◇ 番組表を消すには

[RETURN] ボタンを押してください。

■番組内容を見る

番組表に表示されている番組の内容を見ることができます。

番組表を表示中に、内容を確認したい番組を選ぶ

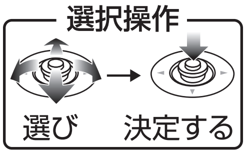
番組予約をする　☞「番組予約へ」を選んだあと、P 35 手順 4 へ

◇ 番組内容表示を消して番組表に戻る

[RETURN] ボタンを押してください。

次のページに続く

チャンネル一覧から選局する



1 [MENU] ボタンを押す



2 「チャンネル一覧」を選ぶ



3 見たい放送局を選ぶ



■チャンネル一覧の切り換え（自宅 ←→ おでかけ）

チャンネル一覧画面で十字キーを左右に傾ける



- 「おでかけ」に登録されていない場合は、「おでかけ」を選ぶことはできません。

「おでかけ」にチャンネルを登録する ☞ P29



お知らせ

- チャンネル一覧表示中は音声の出力はされません。

チャンネル設定を更新 / 消去する

チャンネル設定を更新（変更）する

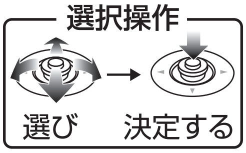
本機は「自宅」「おでかけ」の 2 種類にチャンネルを登録できます。ご使用場所に応じて使い分けて登録しておくと、移動するたびにチャンネル登録し直す必要がないので便利です。

- チャンネル設定はご使用になる場所で行ってください。
- お買い上げ後、初めてワンセグテレビをご利用になるときに登録したチャンネル設定は（P23）、「自宅」に登録されています。
- チャンネル設定は、更新するたびにチャンネルを新しく登録し直します。
- 設定したチャンネルは、電源を切っても保持されます。
- 「自宅」「おでかけ」には、放送局をそれぞれ最大 18 局まで登録できます。

準備　● テレビを受信しておく（P26）

1 [MENU] ボタンを押して次の順で選ぶ

テレビの設定 → チャンネル設定



2 ご使用になる地域を選ぶ

- 地域が特定できない場合は「チャンネルスキャン」を選び、手順 **4** へ進んでください。

3 ご使用になる都道府県を選ぶ

4 表示内容を確認し、「次へ」を選ぶ

選んだ都道府県とは別に現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを検索します。

- 「スキャンしない」を選ぶと、検索せずに都道府県に登録されているチャンネルのみを登録します。
- 手順 **2** で「チャンネルスキャン」を選んだ場合、「次へ」を選ぶと現在設定中の場所で受信可能なチャンネルを検索します。

5 登録する放送局を確認し、「次へ」を選ぶ

次のページに続く

6 保存場所を選ぶ

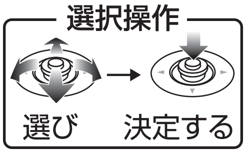
自宅　　：よく利用する場所のチャンネルを登録する場合などに設定してください。
おでかけ：滞在先などでテレビを見る場合などに設定してください。

「自宅」「おでかけ」を切り換える ☞ P28

チャンネルを消去する

準備　●テレビを受信しておく（P26）

1 [MENU] ボタンを押して次の順で選ぶ



テレビの設定 → チャンネル消去

2 消去するチャンネルを選ぶ

3 確認画面で「はい」を選ぶ

◇ チャンネル一覧を消して元の画面に戻る

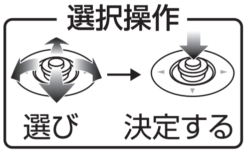
戻りたい画面に戻るまで [RETURN] ボタンを押してください。

お知らせ

●チャンネル一覧に登録されたチャンネルが 1 つしかない場合は、消去できません。

テレビの設定

準備　●テレビを受信しておく（P26）



[MENU] ボタンを押して次の順で選ぶ

テレビの設定 → 希望の設定項目 → 希望の設定内容

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
チャンネル設定	29 ページをお読みください。
チャンネル消去	30 ページをお読みください。
字幕	字幕放送に対応した番組が放送されている場合に、字幕を表示して視聴することができます。 **※ 非表示**　**言語 1**　**言語 2** ●「言語 1」や「言語 2」に設定しても、対応する字幕情報がない番組の場合、字幕は表示されません。
二重音声	二重音声に対応した番組が放送されている場合に、二重音声を切り換えて視聴することができます。 **※ 主**　**副**　**主＋副** ● 二重音声に対応していない番組の場合、主音声での視聴になります。
音声	番組内で複数の音声信号が放送されている場合に、音声を切り換えて視聴することができます。(2011 年 3 月現在、ほとんどの番組は「音声 1」のみ放送されています) **※ 音声 1**　**音声 2** ●「音声 2」に設定していても、以下の場合は「音声 1」に設定が変更されます。 • [-POWER] ボタンや [HOME] ボタンを押したり、チャンネルを切り換えた場合 • 番組視聴中、「音声 2」の放送がなくなった場合
アンテナ受信感度	**※ 高感度**　テレビ放送を高感度で受信 **通常感度**　テレビ放送を通常の感度で受信 ● テレビ塔の近くなど、電波が強すぎるときは「通常感度」に設定してください。
録画先メモリー選択（視聴録画）	現在視聴中の番組を録画するときに内蔵メモリーに録画するか SD カードに録画するかを設定します。32 ページをお読みください。

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面に戻るまで [RETURN] ボタンを押してください。

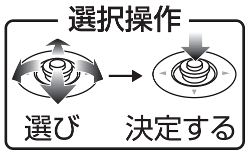
ワンセグ放送を録画する

受信したテレビ放送を、次の３通りの方法で内蔵メモリーやSDカードに録画することができます。

現在視聴中の番組を録画する ☞ 下記
番組表から録画を予約する ☞ P34
日時を指定して録画を予約する ☞ P36

● 録画可能時間について、詳しくは131ページをお読みください。

現在視聴中の番組を録画する



1 録画したいチャンネルにする（P26）

2 録画開始のお知らせ画面が表示されるまで、十字キーの中央を押したままにする

録画を開始します。
（動作表示ランプが約１秒間隔で点滅します）

● AC アダプターを電源として使用時は、停止操作をするまで最大約８時間録画し続けます。



■録画先メモリーを切り換える

内蔵メモリーに録画するかSDカードに録画するかを切り換えます。

● お買い上げ時は「内蔵メモリー」に設定されています。

[MENU] ボタンを押して次の順で選び、録画先を設定する

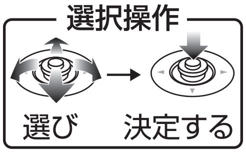
テレビの設定 → 録画先メモリー選択（視聴録画）→ 内蔵メモリー または **SDカード**

◇ 元の画面に戻るには

[RETURN] ボタンを押してください。

次のページに続く

■録画を停止する



1 録画停止の確認画面が表示されるまで、
十字キーの中央を押したままにする

2 確認画面で「はい」を選ぶ



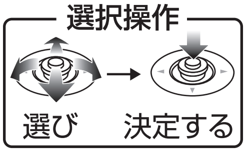
お知らせ

- 録画中、[-POWER] ボタンを押してスタンバイ状態で録画を継続することもできます。録画中は動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。電源を切った場合は録画を停止します。
- 他のアプリケーションを起動しているときに録画停止する場合は、[TV] ボタンを押してテレビの画面にしてから停止操作してください。
- 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーで録画番組を SD カードに転送中は、現在視聴中の番組を SD カードに録画することはできません。転送を停止してから（P94）録画を実行してください。

次のページに続く

番組表から録画を予約する

準備　●テレビを受信しておく（P26）

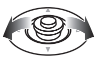


1 [MENU]ボタンを押して「番組表」を選ぶ



2 予約する番組を選ぶ

予約する番組のチャンネルに換える：
十字キーを左右に傾ける



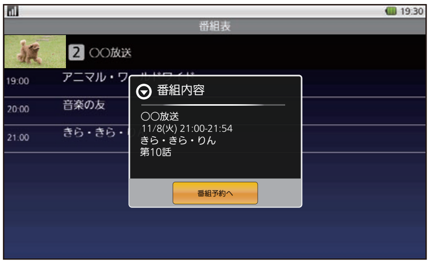
予約する番組を選ぶ：
十字キーを前後に傾けて番組を選び、中央を押す





●番組表には最大10番組まで表示されます。
放送局または時間帯によって、番組表の番組数が少ないことがあります。

3 「番組予約へ」を選ぶ



次のページに続く

戻る

4 下記の設定を変更する場合は項目を選んで、設定変更する

「毎週予約」　：繰り返し録画する場合
「録画先メモリー」：内蔵メモリーと SD カードのどちらに録画するかを変更する場合

5 「予約登録」を選ぶ



◇ 番組表を消して元の画面に戻るには

[RETURN] ボタンを押してください。

録画開始時刻になると　☞ P40

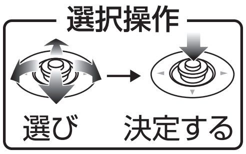
お知らせ

- 録画予約したあとに画面を消灯する場合、電源はスタンバイ状態にしておいてください。(P17)
  電源を切っていると、録画が開始されません。
- スタンバイ状態にする場合は、事前に録画を開始する場所で予約録画のチャンネルが受信可能かを確認してから [-POWER] ボタンを押してください。
- パソコンと接続しているときは予約録画は実行されません。
- 番組表にまだ表示されていない番組は、日時を指定して予約録画してください。(P36)
- 本機は、番組延長などがあった場合に自動的に予約録画時間を変更する番組追従機能には対応していません。
- 録画開始時刻、終了時刻が未定の番組は録画の予約はできません。
- 内蔵メモリーや SD カードのメモリー残量は予約一覧画面で確認できます。(P43)

次のページに続く

日時を指定して録画を予約する

準備 ●テレビを受信しておく（P26）



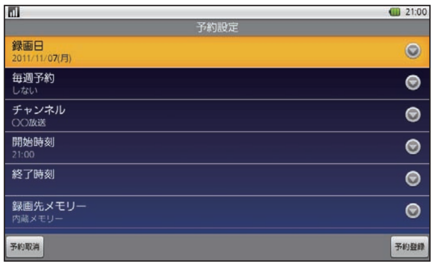
1 [MENU] ボタンを押して「予約一覧」を選ぶ

2 「新規予約」を選ぶ

内蔵メモリーとSDカードの録画可能時間（時間と分で表示）

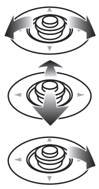


3 予約内容を設定する



「録画日」「開始時刻」「終了時刻」を設定する

- **年月日や時、分を選ぶ**：十字キーを左右に傾ける
- **数字を設定する**：十字キーを前後に傾ける
- **変更画面を閉じる**：十字キーを右に傾けて「設定」を選び、中央を押す



- 録画日は 30 日先までの間で指定することができます。

「毎週予約」「チャンネル」「録画先メモリー」を設定する

十字キーを前後に傾けて変更内容を選び、中央を押す

- 「録画先メモリー」は内蔵メモリーと SD カードのどちらに録画するかを設定します。（お買い上げ時は「内蔵メモリー」）

4 「予約登録」を選ぶ

◇ 予約一覧を消して元の画面に戻るには

[RETURN] ボタンを押してください。

予約一覧画面の表示 ☞ P43

録画開始時刻になると ☞ P40

次のページに続く

お知らせ

- 録画予約したあとに画面を消灯する場合、電源はスタンバイ状態にしておいてください。(P17)
  電源を切っていると、録画が開始されません。
- スタンバイ状態にする場合は、事前に録画を開始する場所で予約録画のチャンネルが受信可能かを確認してから [-POWER] ボタンを押してください。
- パソコンと接続しているときは予約録画は実行されません。
- 予約一覧画面で、録画可能時間が「SD --：--」と表示されている場合は、本機に対応している SD カードが入っていません。予約録画開始時刻までに本機に SD カードを入れなかった場合、録画先メモリーを「SD カード」に設定した場合でも、内蔵メモリーに録画されます。

本機での録画について

- ワンセグ放送には、番組の著作権保護のためにコピー制御信号（「録画不可（コピーネバー）」、「1 回だけ録画可能（コピーワンス）」、「録画制限なし（コピーフリー）」を制御する信号）が組み込まれています。本機はコピー制御信号に対応しています。
- 通常の地上デジタル放送とワンセグ放送では同じ番組が放送される場合が多いですが、それぞれ独自の番組が放送されることもあります。新聞や雑誌の番組表を見て予約した場合、ワンセグ放送で独自の番組が放送されていると、希望の番組と違う番組が録画されます。
- SD カードに録画した番組をパソコンなどへドラッグ & ドロップで転送して見ることはできません。また SD カードに録画した番組をパソコンにコピーし、再度 SD カードに転送して本機で再生することはできません。

■本機で録画したビデオファイルの再生機器について

本機で録画した番組は当社製レコーダーやテレビでは再生できません。また、他社製品で再生することは保証していません。
携帯電話などの再生対応機器については下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/viera_1/

録画時のお知らせ

	内蔵メモリー	SD カード
録画可能番組数	最大 4095 番組	SD カード 1 枚あたり最大 99 番組※
予約可能番組数	最大 12 番組	
連続録画時間	最大約 8 時間	

※ レコーダーなど他の機器で録画した番組や当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーで転送した番組も含みます。

- SDカードに録画する場合、他の機器やパソコンでSDカード内のビデオファイルの消去やフォーマットをすると、管理情報が残るため 99 番組まで録画できない場合があります。フォーマットは本機で行うようにしてください。(P112)

次のページに続く

■以下の場合は録画が正しく行われません

- 電池残量表示が「　」になっているときや、電池残量がなくなった場合
- 内蔵メモリーの空き容量がない場合
- （SD カードに録画する場合）録画可能な SD カードが本機に入っていない、または空き容量が少ない場合
- 電波状況が悪い場合
- 時計が正しく設定されていない場合
- 予約録画の時間が重なっている場合

■録画中に以下の操作をすると録画が停止されます

- 本機の電源を切る
- パソコンと本機を接続
- 内蔵メモリーまたは SD カードのフォーマット
  （予約録画の録画先とフォーマットするメモリーが同一の場合）
- 設定の初期化

■録画中は以下の操作はできません

- 録画番組以外の番組を視聴
- チャンネル一覧の表示
- 自宅←→おでかけの切り換え
- チャンネル設定 / 消去
- 現在予約録画実行中の予約の修正 / 取り消し
- 現在録画中のチャンネル以外のチャンネルの番組を番組表から録画予約
- ビデオ再生（録画先と再生ファイルの保存先が同一の「録画番組」ファイル（P55）を再生）
- ビデオファイルのコピー
- ビデオファイルのプロテクト / 消去
  （録画先とプロテクト / 消去するファイルの保存先が同一の場合）
- 音楽再生
  （録画先が SD カードで、SD カード内の「 SD-Audio 」アイコンのある音楽を再生する場合）
- 無線 LAN 接続が必要なアプリケーション（「（radiko.jp）」「（YouTube）」「（ネットワークメディアプレーヤー）」「（DIGA）」）の起動

次のページに続く

■録画先メモリーについて

録画先メモリーを SD カードに設定した場合でも（P31）、録画開始時に SD カードが入っていない場合や録画可能な SD カード※が入っていない場合は、内蔵メモリーに録画されます。

- 録画途中で SD カードの録画可能時間がなくなった場合は、内蔵メモリーに録画は引き継がれません。

※録画可能な SD カード

- SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていない
- 録画に十分な録画可能時間が残っている
- 録画可能番組数（最大 99 番組）が記録されていない
- 認識できる SD カードである（サポート外のフォーマットでないなど）

■録画中に電波状況が悪くなると

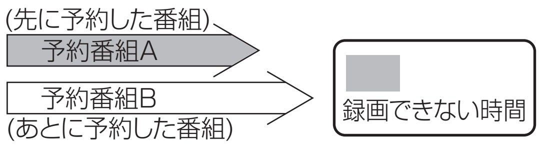
録画が一時中断になり、ステータスバーに中断中のメッセージが表示されます。電波状況が回復すると、表示が消えて録画を再開します。このような状況で録画された番組を再生すると、録画されなかった区間はとび越して再生されます。

予約録画時間が重なっている場合は

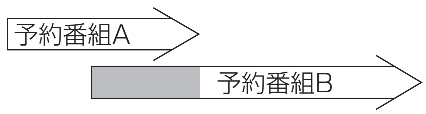
予約時に、他の予約録画と重なっている場合は、重複予約の確認画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選んでください。

重複した場合の録画内容

録画開始時刻が同じときは、あとから予約した番組を録画します。

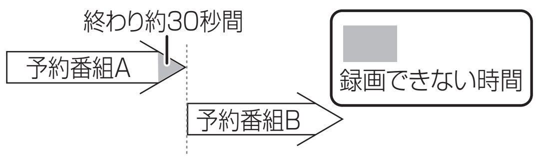


録画開始時刻になった番組を録画終了時刻まで録画したあと、すでに開始時刻を過ぎている番組を途中から録画します。



前の予約番組の終了時刻と次の予約番組の開始時刻が同じとき

次の予約録画の準備のため、前の予約番組の終わり約 30 秒間が録画されません。



次のページに続く

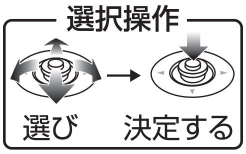
戻る

予約録画の開始時刻になると

本機の状態によって、予約録画が実行されなかったり、録画開始時刻前の本機の状態を継続できないことがあります。

本機の状態	録画開始時刻の本機の動き	録画の可否
電源「切」	録画されません。	否
パソコンと本機を接続中	録画されません。	否
スタンバイ状態	スタンバイ状態のままで録画が開始されます。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅） ● 録画中は、[-POWER] ボタンを押して画面をつけたり消したりすることができます。	可
ワンセグテレビ視聴中（予約録画番組のチャンネルと異なるチャンネルを視聴中）	予約録画開始時刻 1 分前になると、ステータスバーに「 」が表示され、30 秒前になると予約録画するチャンネルに切り換わります。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅） ● 録画終了後は、録画開始前の画面に切り換わります。 録画をキャンセルして続きを楽しみたい場合☞ P41	可
現在視聴中のワンセグテレビ番組を録画中	録画を停止しないと予約録画が開始されません。 33 ページの操作をして録画を停止すると予約録画が開始します。	可
ビデオ再生中（「録画番組」ファイル（P55）を再生時で、かつ再生ファイルの保存先と予約録画の録画先のメモリーが同一の場合）	予約録画開始時刻 1 分前になると、ステータスバーに「 」が表示され、予約録画開始時刻になるとビデオ再生を停止してビデオファイルリスト画面になります。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅） 録画をキャンセルして続きを楽しみたい場合☞ P41	可
ビデオファイルコピー中	予約録画開始時刻 1 分前になると、ステータスバーに「 」が表示され、予約録画開始時刻になるとコピー / プロテクト / 消去を中止してビデオファイルリスト画面になります。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅）	可
ビデオファイルプロテクト中（プロテクトするファイルの保存先と予約録画の録画先のメモリーが同一の場合）		
ビデオファイル消去中（消去するファイルの保存先と予約録画の録画先のメモリーが同一の場合）		
音楽再生中（SD カードの「SD-Audio」アイコンのある音楽を再生中で、かつ予約録画の録画先のメモリーが SD カードの場合）	予約録画開始時刻 1 分前になると、ステータスバーに「 」が表示され、予約録画開始時刻になると音楽を停止して音楽リスト画面になります。（動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅） ● SD カードに録画する場合は、「SD-Audio」アイコンのある音楽の再生はできません。 録画をキャンセルして続きを楽しみたい場合☞ P41	可

次のページに続く



■予約録画を停止する

● テレビ視聴中に録画を停止する

❶ 予約録画停止の確認画面が表示されるまで、十字キーの中央を押したままにする

❷ 確認画面で「はい」を選ぶ

● テレビ以外のアプリケーション画面で録画を停止する

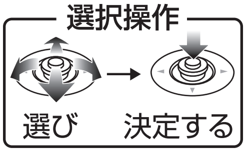
❶ [TV] ボタンを押す

❷ 予約録画停止の確認画面が表示されるまで、十字キーの中央を押したままにする

❸ 確認画面で「はい」を選ぶ

予約録画を確認 / 変更 / 取り消しする

準備　●テレビを受信しておく（P26）



1 [MENU] ボタンを押して「予約一覧」を選ぶ

2 変更 / 取り消ししたい予約を選ぶ

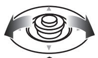
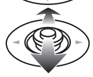
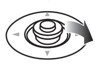
予約内容が表示されます。

●変更 / 取り消しがなければ、[RETURN] ボタンを押して予約一覧に戻ってください。

変更する場合

3 （手順 2 まで操作したあと）変更したい項目を選び、予約内容を修正する

「録画日」「開始時刻」「終了時刻」を変更するときは

- **年月日や時、分を選ぶ**　：十字キーを左右に傾ける 
- **数字を変更する**　：十字キーを前後に傾ける 
- **変更画面を閉じる**　：十字キーを右に傾けて「設定」を選び、中央を押す 

「毎週予約」「チャンネル」「録画先メモリー」を変更するときは

十字キーを前後に傾けて変更内容を選び、中央を押す

4 「予約修正」を選ぶ



◇ 予約一覧を消して元の画面に戻るには

[RETURN] ボタンを押してください。

次のページに続く

戻る

取り消す場合

3 (42 ページの手順 **2** まで操作したあと)「予約取消」を選ぶ



4 確認画面で「はい」を選ぶ

お知らせ

- 現在予約録画実行中の番組は、変更や取り消しすることができません。変更や取り消ししたい場合は予約録画を停止してから操作してください。(P41)

■予約一覧画面



Ⓐ	**現在の時刻** ● 時計は、テレビ放送を受信すると自動的に設定されます。
Ⓑ	**録画可能時間の目安** ● 時間と分で表示します。 ● 録画可能時間について、詳しくは 131 ページをお読みください。
Ⓒ	**予約録画が重複している番組**

Ⓓ	**毎週予約の設定がされている番組**
Ⓔ	**正しく録画されなかった番組** ● 十字キーの中央を押すと録画されなかった理由が表示されます。 ● 理由を表示中に「未実行履歴削除」を選ぶと表示中の履歴を消去します。 ● 未実行履歴 の番組は最大 4 件まで表示されます。4 件を超えると、古いものから自動的に消去されます。

再生ファイルの準備

本機で再生できるビデオ、音楽、写真ファイルを準備するには、以下の方法があります。

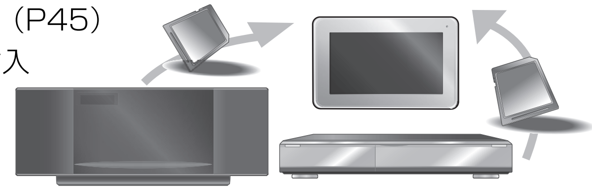
ビデオファイル

- 本機でワンセグ放送を受信して録画（P32）
- パソコンのエクスプローラーでドラッグ & ドロップで転送（P48）
- Windows Media Player を使って転送（P51）
（著作権保護されたファイルを転送する場合、Windows Media Player を使って転送してください）
- 当社製レコーダーなどで録画した録画番組を SD カードに持ち出して（P45）、その SD カードを本機に挿入
- USB 接続ケーブル（付属）を使って USB 端子付きのレコーダーと接続して持ち出し番組を転送（P49）



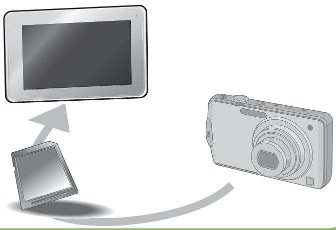
音楽ファイル

- パソコンのエクスプローラーでドラッグ & ドロップで転送（P48）
- Windows Media Player を使って転送（P51）
（著作権保護されたファイルを転送する場合、Windows Media Player を使って転送してください）
- 当社製のレコーダーやステレオシステムまたは当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）で音楽ファイルを記録した SD カード（P45）
を本機に挿入



写真ファイル

- パソコンのエクスプローラーでドラッグ & ドロップで転送（P48）
- デジタルカメラで写真を撮影した SD カードを本機に挿入



無線で転送する ☞ 89、91、97

次のページに続く

戻る

ビデオファイル記録の対応機器のご紹介

当社製機器（レコーダーやテレビなど）で録画した録画番組を SD カードに持ち出し、本機で再生することができます。

- DLNA 対応機器と無線 LAN で DLNA 接続し、ビデオファイルを転送することもできます。詳しくは 89 ページ、91 ページ、97 ページをお読みください。

SD カードに持ち出し可能対応機器　（2011 年 3 月現在）

商品名	対応機器の品番
ブルーレイディスクレコーダー	DMR-BZT900※、DMR-BZT800※、DMR-BZT700※、DMR-BZT600※、DMR-BRT300※、DMR-BWT3100※、DMR-BWT2100※、DMR-BWT1100※、DMR-BWT500※、DMR-BW890※、DMR-BW690※、DMR-BR590、DMR-BR585、DMR-BF200
テレビ	TH-P46RT2B、TH-P42RT2B、TH-P50R2、TH-P46R2、TH-P42R2、TH-L37R2B、TH-L32R2B 、TH-L37R2、TH-L32R2、TH-L19R2
ポータブルテレビ	SV-ME850V、SV-ME750、SV-ME650、SV-ME550、SV-ME75、SV-MC75、SV-MC55
デジタルメディアプレーヤー	SV-MV100
上記以外の対応機器については下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/viera_1/	

※「高画質（VGA）」「ワンセグ画質（QVGA）」の持ち出しに対応した機器です。本機は「高画質（VGA）」「ワンセグ画質（QVGA）」再生に対応しています。

- 他社製品の機器などで録画した番組を本機で再生することは保証していません。
- 上記ブルーレイディスクレコーダーやテレビで録画したファイルを本機で再生することはできますが、本機で録画したビデオファイルを上記ブルーレイディスクレコーダーやテレビで再生することはできません。

音楽ファイル記録の対応機器のご紹介

（2011 年 3 月現在）

商品名	対応機器の品番
コンパクトステレオシステム	SC-HC40、SC-HC4
ブルーレイディスクレコーダー	DMR-BZT900、DMR-BZT800、DMR-BZT700、DMR-BZT600、DMR-BWT3100、DMR-BWT2100、DMR-BWT1100、DMR-BW890、DMR-BW690、DMR-BWT500
上記以外の対応機器については下記サポートサイトでご確認ください。 http://panasonic.jp/support/viera_1/	

次のページに続く

本機で再生できるファイル形式

	ファイル形式	詳細	拡張子
ビデオ	H.264(Baseline Profile) MPEG-4（Simple Profile）	ビットレート　：～ 4 Mbps フレームレート：～ 30 fps 画角サイズ　　：～ 720 × 480	.mp4 .m4v .3gp .3g2
	WMV※2	ビットレート　：～ 3 Mbps フレームレート：～ 30 fps 画角サイズ　　：～ 640 × 360	.wmv
	SD Video （SD カードのみ）	SD Video H.264 Mobile Video Profile【VGA 画質※3】 SD Video ISDB-T Mobile Video Profile (Class4)【VGA 画質※4、ワンセグ画質】	―
音楽※1	AAC	ビットレート：～ 320 kbps	.m4a .mp4 .3gp
	MP3	ビットレート：～ 320 kbps	.mp3
	WMA※2	ビットレート：～ 192 kbps	.wma
写真	JPEG	JPEG ベースライン方式、DCF 準拠、Exif2.2 準拠	.jpg

- 上記ファイル形式のすべてのファイルの再生を保証するものではありません。
- ファイル形式に対応していても、ファイルによっては再生位置を正しく変更できない場合があります。

※1　SD Audio は SD カードにのみ保存可能です。SD Audio の対応ビットレートなどの詳細は、転送する機器や SD-Jukebox の取扱説明書をお読みください。
※2　著作権保護された WMA および WMV は内蔵メモリーに転送されたファイルのみ再生可能です。(SD カードまたは DLNA 経由でのファイルの再生はできません)
※3　当社製レコーダーから持ち出し番組を SD/USB 経由で持ち出す場合に、記録画質を高画質（VGA）に設定して SD カードに保存したファイル
※4　当社製レコーダーから持ち出し番組をネットワーク経由（DLNA）で転送したファイル

■本機で認識できるファイル数

ビデオ	録画番組	内蔵メモリー：4095 ファイル	SD カード：99 ファイル
	その他動画	内蔵メモリー：2000 ファイル	SD カード：2000 ファイル
音楽		内蔵メモリー：8000 ファイル	SD カード：8000 ファイル
写真		内蔵メモリー：10000 ファイル	SD カード：10000 ファイル

- フォルダ構成やファイル名によって、本機で認識できるファイル数が前後します。

戻る

パソコンと接続する

動作環境を確認する

対応 OS（プリインストールされた各日本語版）	**Windows XP（SP3）**
	Home Edition/Professional
	Windows Vista（SP1、SP2）
	Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate
	Windows 7
	Starter/Home Premium/Professional/Ultimate

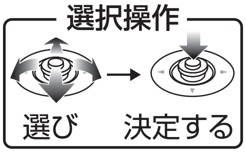
※ Windows Media Player 11 以降が必要です。

- Windows XPをお使いの場合は、必ずWindows Media Player 11以降にアップデートしてご使用ください。

次のページに続く

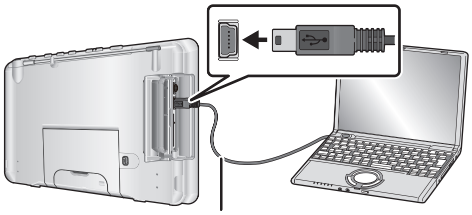
パソコンと接続する

準備
- パソコンを起動させておく
- 本機の電源を入れて画面を点灯させておく（P17）



1 付属の USB 接続ケーブルを使って、本機とパソコンを接続する

- 録画、転送、再生などの動作中にパソコンに接続すると、接続前の動作（録画、転送、再生など）が停止します。



2 接続先選択画面が表示されるので、「USB 接続（内蔵メモリー）」または「USB 接続（SD カード）」を選ぶ

- ファイル転送時の転送先フォルダーについては 50 ページをお読みください。

■USB 接続先を切り換えるには

本機に接続中の USB 接続ケーブルを一度取り外し、再度接続すると接続先選択画面が表示されます。再度接続先を選択してください。

■パソコンから取り外す

本機の接続先を「USB 接続（内蔵メモリー）」に設定している場合

ファイル転送が完了していることをパソコン画面で確認してから USB 接続ケーブルを取り外してください。

本機の接続先を「USB 接続（SD カード）」に設定している場合

パソコンのタスクトレイにあるアイコン（「 」や「 」）をダブルクリックし、画面の指示に従って USB 接続ケーブルを取り外してください。（OS の設定によっては表示されません）

次のページに続く

お知らせ

- **USB 接続ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。**
- パソコンと接続中は、予約録画や当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーからの転送は実行されません。
- パソコンと接続すると充電されますが、満充電になるまで約 9 時間かかります。
- 当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）を使って音楽を転送する場合、内蔵メモリーに転送することはできません。SD カードに転送してください。
- パソコンを起動（再起動）するときは、本機から USB 接続ケーブルを抜いておくことをおすすめします。
- 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。

■内蔵メモリー /SD カードに転送したファイルの更新について

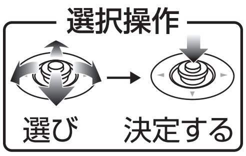
USB 接続ケーブルをパソコンと接続したり取り外したときなどに、再生ファイルの管理情報を更新します。（更新中はステータスバーに「 」が表示されます）
本機の操作ができない場合は、「 」表示が消えてから操作してください。

- ファイル数が多い場合は更新が完了するまでに時間がかかります。
- 電源がスタンバイ状態のときは更新されません。

当社製レコーダーと接続する

USB 端子付き当社製レコーダーと本機を USB 接続ケーブル（付属）で接続して、本機に入れた SD カードに持ち出し番組や音楽ファイルを転送できます。

準備	●本機に SD カードを入れておく（P13） ●本機とレコーダーの電源を入れておく



1 **付属の USB 接続ケーブルを使って、本機とレコーダーを接続する**

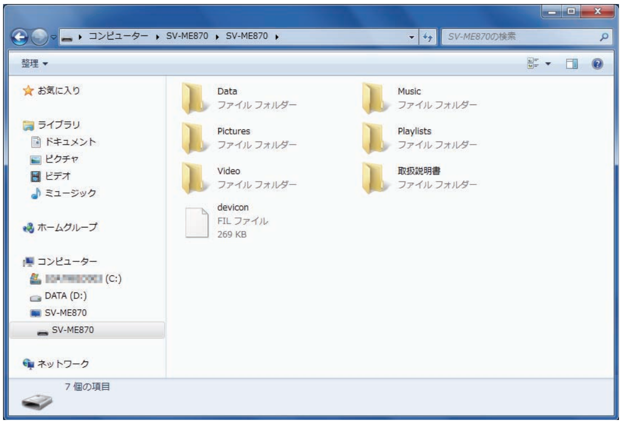
2 **接続先選択画面が表示されるので「USB 接続（SD カード）」を選ぶ**

お知らせ

- レコーダーの取扱説明書もお読みください。
- 内蔵メモリーに転送することはできません。

次のページに続く

内蔵メモリーのフォルダー構造



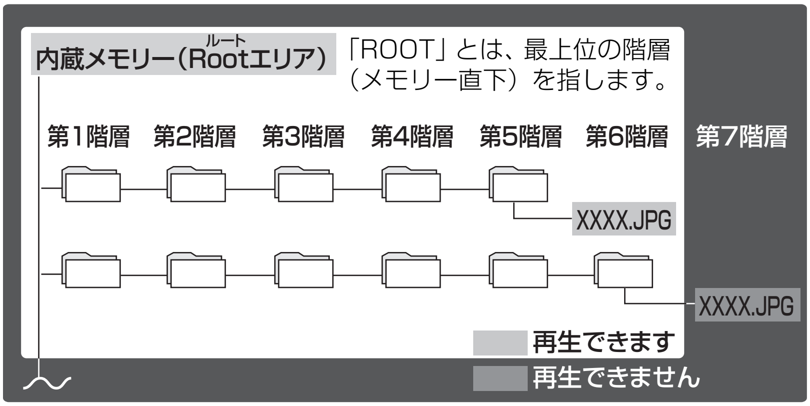
パソコンから内蔵メモリーや SD カードに転送するときは、下記フォルダーに転送することをおすすめします。

- ビデオファイル → 「Video」フォルダー
- 音楽ファイル → 「Music」フォルダー
- 写真ファイル → 「Pictures」フォルダー

（画面例：Windows 7 使用の場合）

内蔵メモリーに転送時のお知らせ

- 内蔵メモリーの６階層目まで転送できます。
- フォルダー名は31 文字まで、ファイル名は 63 文字まで対応しています。
- パソコンから内蔵メモリーに転送するファイルが本機サポート外のファイルの場合、転送時に本機サポートのファイル形式に変換される場合があります。



SD カードに転送時のお知らせ

- SD カードの 8 階層目までに転送されたファイルは本機で再生できます。

お知らせ

- ビデオ、音楽、写真ファイルを、フォルダー名が「.（ピリオド）」で始まるフォルダーに転送しないでください。本機で再生できません。
- 「DCIM」フォルダー、「SD_VIDEO」フォルダー、「SD_AUDIO」フォルダーがある場合、これらのフォルダーを消去したり、フォルダー名を変更しないでください。
- 「SD_VIDEO」フォルダーと「SD_AUDIO」フォルダーにドラッグ & ドロップでファイルを転送しないでください。

戻る

Windows Media Player を使って本機に転送する

Windows Media Player は Windows Media Player11 以降を使用してください。（P47）

● 本書では、Windows Media Player 12 で説明しています。Windows Media Player 12 以外で転送する場合は、Windows Media Player のヘルプをご覧ください。

パソコン内の音楽や動画、音楽 CD の曲を本機に転送するには、大きく分けて以下の 2 つの手順が必要です。

① Windows Media Player に動画や音楽ファイルを取り込む

② Windows Media Player に取り込んだ動画や音楽を転送する（P53）

● すでに Windows Media Player に動画や音楽を取り込んでいる場合は ② の操作から行ってください。（P53）

① Windows Media Player に取り込む

パソコン内の動画を取り込む場合と音楽 CD の曲を取り込む場合で操作が異なります。

■パソコン内の動画を取り込む場合

準備　●パソコンを起動しておく

1 Windows Media Player 12 を起動する

2 画面左の「ビデオ」をクリックする

3 取り込むファイルを Windows Media Player に ドラッグする



取り込んだ動画を本機に転送する ☞ P53

次のページに続く

■音楽 CD の曲を取り込む場合

準備　●パソコンを起動し、音楽 CD をパソコンに入れておく

1 Windows Media Player 12を起動する

CD 内の曲の一覧が表示されます。

2 取り込まない曲があれば、クリックして「☑」（チェック）を外す

3 「»」をクリックして「CD の取り込み」をクリックする

チェックを入れた曲の取り込みを開始します。



お知らせ

- 取り込んだ曲はパソコンのミュージックライブラリに保存されます。
- パソコンをインターネットに接続しているときは、マイクロソフトのサーバーに音楽 CD の情報がある場合、自動的にアルバム名やタイトルを取り込みます。
- 音質やファイル形式などを変更する場合や、音楽と一緒にジャケット写真も転送する場合など、詳しくは Windows Media Player 12 のヘルプをご覧ください。

取り込んだ音楽を本機に転送する ☞ P53

次のページに続く

② 本機に転送（同期）する

準備
- パソコンを起動しておく
- 本機の電源を入れて画面を点灯させておく（P17）



1 パソコンと本機を付属の USB 接続ケーブルで接続しておく（P48）

2 Windows Media Player12 を起動する

3 画面右の「同期」をクリックする

4 画面左の「ビデオ」または「音楽」をクリックする

5 転送したいファイルを右クリックし、「追加」→「同期リスト」を選ぶ

画面右下段の同期リストに選んだファイルが追加されます。

- 右側の同期リストにドラッグ & ドロップして追加することもできます。

6 「同期の開始」をクリックする

転送（同期）が開始されます。

次のページに続く

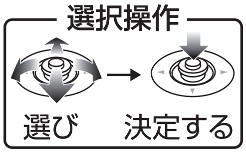
戻る

お知らせ

- 詳しくは Windows Media Player のヘルプをご覧ください。
- ライセンス（著作権保護）付きファイルは、そのライセンスの条件によっては本機に転送できない場合があります。
- 本機の日時設定が正しくない場合、著作権保護されたファイルは再生できない場合があります。
- 本機に転送時に、本機に対応した形式に変換処理が行われる場合があります。

ビデオを再生する

本機で録画したワンセグ放送を再生したり、当社製レコーダーやパソコンから転送したファイルを再生することができます。



準備　●再生ファイルを準備しておく（P44）

1 [HOME] ボタンを押す



ホーム画面が表示されます。

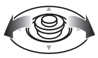
2 「（ビデオ）」アイコンを選ぶ

ビデオファイルリストが表示されます。



3 再生したいファイルを選ぶ

ファイルの種類を切り換える：
十字キーを左右に傾ける



- 録画番組　：本機で録画したワンセグ放送や当社製レコーダーから転送したファイル
- その他動画：パソコンから転送した動画ファイル

ファイルを選ぶ：
十字キーを前後に傾ける



ビデオファイルリスト画面（「録画番組」）



ファイルが保存されているメモリーを切り換える場合

1. （ビデオファイルリスト画面で）[MENU] ボタンを押す
2. 「再生メモリー切り替え」を選ぶ
3. 「内蔵メモリー」または「SD カード」を選ぶ

- 録画日が不明な場合、録画日は「---------」と表示されます。

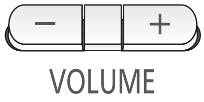
お知らせ

- 容量が 2 GB 以上のファイルは正常に再生できない場合があります。
- 転送中は、再生画面が乱れたりとぎれたりすることがあります。（転送中は動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します）
- 録画中は録画先と同じメモリーの録画番組を再生できません。
- 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーで SD カードに転送中は SD カードの録画番組を再生できません。

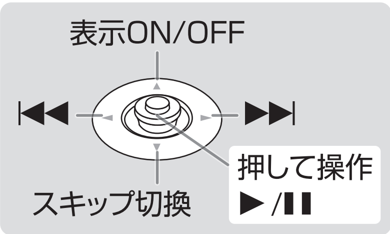
次のページに続く

■音量を調整する

[VOLUME] ボタンを押す



■再生中の十字キー操作

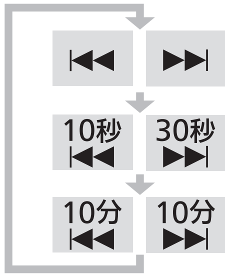


十字キーを傾けて操作します。

表示 ON/OFF　：後ろに傾けるたびに十字キー操作ガイドなどの情報の表示 / 非表示を切り換え

⏮ / ⏭　：スキップ / サーチ（早戻し / 早送り）
- スキップ　→　1 回ずつ傾ける
- サーチ　→　再生中に傾けたままにする
- ファイルによって再生位置を正しく変更できない場合があります。

スキップ切換　：前に傾けるたびにスキップ間隔を切り換え



十字キーの中央を押して操作します。

▶/❚❚　：再生 / 一時停止

お知らせ
- ファイルをまたいでのサーチには対応していません。
- ファイルによってスキップできない場合があります・

■停止してビデオファイルリストに戻る場合

[RETURN] ボタンを押してください。

次のページに続く

■「まとめ」表示のある番組（まとめ表示）

「毎週予約」を設定して予約録画したファイルをビデオファイルリスト画面で 1 つのタイトルにまとめて表示 / 管理します。

- ビデオファイルリスト画面で「まとめ」表示のある番組を選ぶと、「毎週予約」設定によって繰り返し録画されたビデオファイルが表示されます。

「まとめ表示」しないようにする ☞ P63

■「録画中断区間あり」が表示されている場合

本機でワンセグ録画したときに電波状況が悪いなど正常に録画されていない区間がある場合、ビデオファイルリストに表示されます。
再生すると、録画されなかった区間はとび越して再生されます。途中に録画されなかった区間があった場合でも、記録時間の表示はこの区間を含めたものになります。

■ビデオファイルリスト画面で詳細情報を確認する

ビデオファイルリスト画面で詳細情報を確認したいファイルを選び、十字キーの中央を押したままにすると詳細情報が表示されます。

「先頭から再生」 ☞ P58
「プロテクト」 ☞ P59
「SD カードにコピー」 ☞ P60
「消去」 ☞ P62

詳細情報を消して元の画面に戻るには [RETURN] ボタンを押してください。

次のページに続く

■レジューム機能

前回停止したところから再生します。

- 当社製レコーダーやテレビで録画した番組をSDカードに持ち出し本機で再生した場合、レコーダー/テレビで見ていた続きから再生されます。（続き再生メモリー機能）

番組の先頭から再生させるときは

1 **ビデオファイルリスト画面で詳細情報画面が表示されるまで十字キーを押したままにする**

2 **「先頭から再生」を選ぶ**

■チャプターマーク対応

当社製レコーダー / テレビから SD カードに持ち出した番組の場合、作成されたチャプターマークは本機にも引き継がれるため、スキップ操作で見たい場面を探すことができます。
「スキップ切換」でスキップする間隔を変更しているときは（P56）、チャプターマーク単位でスキップしません。



チャプターマーク

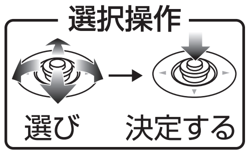
お知らせ

- SD カードの書き込み禁止スイッチが [LOCK] 側になっている場合は（P14）停止位置が記録されず、レジュームされません。
- レコーダー / テレビで編集などを行った場合は、チャプターマークが引き継がれなかったり、レジューム機能が働かない場合があります。
- チャプターマークやレジューム位置は多少ずれる場合があります。
- レコーダー/ テレビでの録画、番組の持ち出しかたやチャプターマークの作成については、レコーダーやテレビの取扱説明書をお読みください。
- 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーと無線 LAN 接続して転送したファイルはチャプターマークに対応していません。
- 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーで途中まで視聴していた持ち出し番組を無線 LAN 接続して転送した場合、レコーダーで視聴していた続きから再生されず、ファイルの先頭からの再生になります。

ビデオを保護（プロテクト）する

誤って消去しないように、録画番組のビデオファイルを保護（プロテクト）することができます。
●「その他動画」のファイルにプロテクトすることはできません。

準備 ●ビデオファイルを再生している場合は停止して「録画番組」のビデオファイルリスト画面にしておく（P56）



1 [MENU] ボタンを押して「プロテクト」を選ぶ



2 保護したい録画番組のビデオファイルを選ぶ

選んだビデオファイルに鍵マーク（ 🔒 ）が入ります。

- 保護を解除したい場合は、「 🔒 」のあるビデオファイルを選んでください。



3 [MENU] ボタンを押して「はい」を選ぶ

プロテクトされたファイルにはビデオファイルリスト画面で「 🔒 」が表示されます。

- 複数のビデオファイルをプロテクトする場合、実行中に [RETURN]、[HOME]、[TV]、[-POWER] ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降のファイルのプロテクトを中止します。

お知らせ

- プロテクトしたいファイルで十字キーの中央を押したままにして設定することもできます。
- 保護していてもフォーマットした場合は消去されます。
- 電池残量表示が「 」になっているときは、プロテクト / プロテクト解除することはできません。

戻る

録画番組をコピーする（内蔵メモリー→ SD カード）

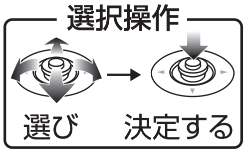
本機で内蔵メモリーにワンセグ録画した番組を SD カードにコピーすることができます。

● 以下のコピーには対応していません。

- SD カードのビデオファイルを内蔵メモリーにコピー
- 「その他動画」のファイルをコピー
- 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーから内蔵メモリーに転送されたファイルをコピー

準備

- **SD カードを入れておく（P13）**
- **ビデオファイルを再生している場合は停止して「録画番組」のビデオファイルリスト画面にしておく（P56）**
- **保存先メモリーを「内蔵メモリー」にしておく（P55）**



1 [MENU] ボタンを押して「SD カードにコピー」を選ぶ



2 コピーしたい録画番組のビデオファイルを選ぶ

選んだビデオファイルにチェック（✓）が入ります。

- もう一度ビデオファイルを選ぶと、チェックが外れます。



3 [MENU] ボタンを押して「はい」を選ぶ

- コピー中に [RETURN]、[HOME]、[TV]、[-POWER] ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降のファイルのコピーを中止します。

次のページに続く

戻る

コピーの制限について

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するためコピー制限があります。



10：数字はコピーできる残り回数を示しています。

- 数字が「1」になると、これ以上コピーすることはできません。このファイルのコピー操作を行うと、確認画面が表示されます。
  「OK」を選ぶと、選んだファイルは内蔵メモリーから消去され、SD カードへ移動します。
- プロテクトされているファイルは移動できません。

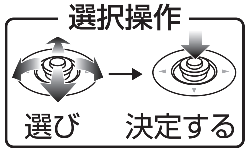
コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会　　　　　http://www.dpa.or.jp

お知らせ

- コピーしたいファイルで十字キーの中央を押したままにしてコピーすることもできます。
- まとめ表示しているビデオファイル（「まとめ」表示のあるビデオファイル）を選んだ場合は、そのタイトル内にまとめられているコピー可能なファイルをコピーします。この場合、「1」の表示されているファイルは内蔵メモリーから消去され、SD カードへ移動します。
- 電池残量表示が「　」になっているときはコピーできません。

ビデオを消去する

準備　●ビデオファイルを再生している場合は停止して「録画番組」のビデオファイルリスト画面にしておく（P56）



1 [MENU] ボタンを押して「選択消去」または「全消去」を選ぶ

●「全消去」を選んだ場合は手順 **4** へ進んでください。



2 消去したい録画番組のビデオファイルを選ぶ

選んだビデオファイルにチェック（✓）が入ります。

●もう一度ビデオファイルを選ぶと、チェックが外れ選択が解除されます。

3 [MENU] ボタンを押す

4 確認画面で「はい」を選ぶ

●複数のビデオファイルを消去する場合、消去中に [RETURN]、[HOME]、[TV]、[-POWER] ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降のファイルの消去を中止します。（中止するまでに消去された番組は元に戻すことはできません）

◇ 消去後のワンセグ録画可能時間について

放送局から送信されるビットレート（単位時間あたりの情報量）は、放送局や番組によって異なります。
本機では、ビットレートの大きい番組（412 kbps）を想定してワンセグ録画可能時間の目安を表示しています。そのため、本機で録画したビデオファイルで、情報量の少ない番組を消去した場合は、消去した番組の録画時間に対して、増加する録画可能時間が少なくなります。

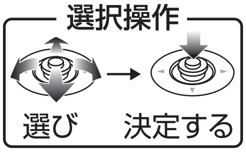
お知らせ

●消去したいファイルで十字キーの中央を押したままにして消去することもできます。
●「プロテクト」設定されたビデオファイルは消去できません。
●まとめ表示しているビデオファイル（「まとめ」表示のあるビデオファイル）を選んだ場合は、そのタイトル内にまとめられているすべてのファイルが消去されます。
●電池残量表示が「　」になっているときは、消去できません。

ビデオの再生設定

[MENU] ボタンを押して次の順で選ぶ

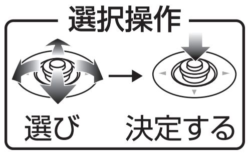
ビデオの再生設定 → 希望の設定項目 → 希望の設定内容



設定項目	設定内容　　（※：お買い上げ時の設定）
字幕 **（「録画番組」のみ）**	字幕放送に対応したビデオファイルを再生している場合に、字幕を表示して視聴することができます。 ※ **非表示**　　**言語 1**　　**言語 2** ●「言語 1」や「言語 2」に設定しても、対応する字幕情報がないビデオファイルの場合、字幕は表示されません。
二重音声 **（「録画番組」のみ）**	二重音声に対応したビデオファイルを再生している場合に、二重音声を切り換えて視聴することができます。 ※ **主**　　**副**　　**主＋副** ● 二重音声に対応していないビデオファイルの場合、主音声での視聴になります。
リピート	繰り返し再生するように設定することができます。 ※ **オフ**　　**1 ファイル**　　**全ファイル**
プログレスバー表示	再生経過時間を示すプログレスバーを表示するかしないかを設定します。 **表示**　　**※非表示**
まとめ表示 **（「録画番組」のみ）**	録画予約をしたときに「毎週予約」を設定して繰り返し録画したファイルをビデオファイルリストでまとめて表示するように設定します。 ※ **オン**：まとめて表示します。 **オフ**：まとめて表示しません。

音楽を聴く

準備　●本機に音楽ファイルを転送しておく（P44）



1 [HOME] ボタンを押す

ホーム画面が表示されます。



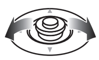
2 「♫（音楽）」アイコンを選ぶ

音楽リストが表示されます。



3 再生したいファイルを選ぶ

ファイルの分類を切り換える：
十字キーを左右に傾ける



●ファイルの分類については67ページをお読みください。

ファイルを選ぶ：
十字キーを前後に傾ける



●「全曲」以外の分類を選んだ場合は、さらにアーティストやアルバムなどのプレイリストを選び、再生したいファイルを選んでください。

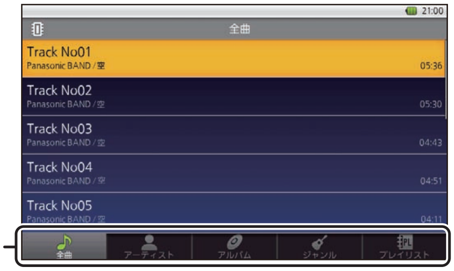
ファイルが保存されているメモリーを切り換える場合

1 **（音楽リスト画面で）[MENU] ボタンを押す**

2 **「再生メモリー切り替え」を選ぶ**

3 **「内蔵メモリー」または「SD カード」を選ぶ**

音楽リスト画面



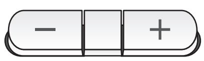
●当社製レコーダーやステレオシステム、当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）を使って SD カードに転送したファイルには「 SD-Audio 」が表示されます。

音楽を再生します。
動作表示ランプが約 3 秒間隔で点滅します。

●画面は、一定時間操作しないでいると消灯します。お買い上げ時は「10 分」に設定されています。一定時間の設定のしかたについては 110 ページをお読みください。

■音量を調整する

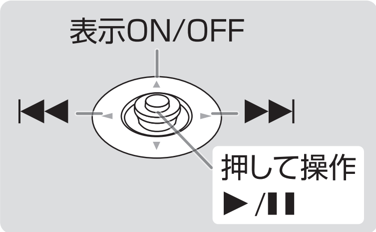
[VOLUME] ボタンを押す



次のページに続く

戻る

■再生中の十字キー操作



十字キーを傾けて操作します。

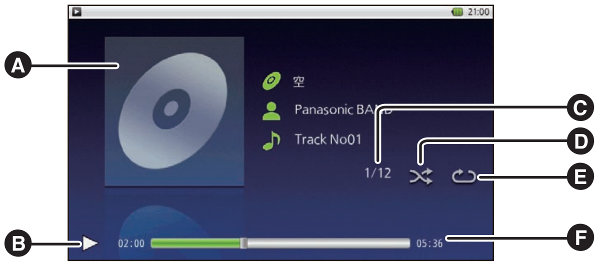
表示 ON/OFF　：後ろに傾けるたびに十字キー操作ガイドの表示 / 非表示を切り換え

⏮ / ⏭　：スキップ / サーチ（早戻し / 早送り）
- スキップ　→　1 回ずつ傾ける
- サーチ　→　傾けたままにする
- ファイルによって再生位置を正しく変更できない場合があります。
- ファイルをまたいでのサーチには対応していません。

十字キーの中央を押して操作します。

▶/❚❚　：再生 / 一時停止

■再生画面表示



A	**ジャケット写真** 音楽に添付された JPEG 形式の写真を表示します。 ● ジャケット写真（アルバムアート・静止画添付）の添付のしかたについては、Windows Media Player の取扱説明書または当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）の取扱説明書をお読みください。 ● ジャケット写真がない場合や表示できない場合は固定の画像が表示されます。 ● 1 曲に複数の写真を添付している場合、本機では最初の 1 枚のみが表示されます。

B	**再生中 / 一時停止中：▶（❚❚）**
C	**現在の曲 / 総曲数**
D	**ランダム再生する（P66）** ：ランダム再生オン　：オフ
E	**リピート再生する（P66）** ：全ファイル　：1 ファイル ：オフ
F	**プログレスバー（再生経過時間）**

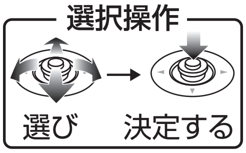
■音楽再生画面から音楽リスト画面に戻る

[RETURN] ボタンを押す

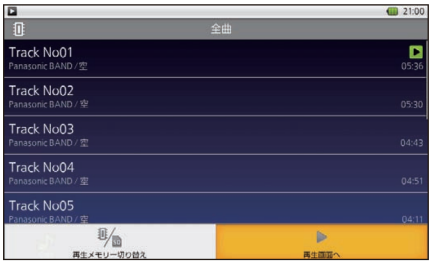
- 現在選択中の曲は、音楽リストの右端に「▶」を表示します。
- [MENU] ボタンを押して「リスト画面へ」を選んで音楽リスト画面を表示することもできます。

次のページに続く

■音楽リスト画面から現在再生中の音楽の再生画面に戻る



[MENU] ボタンを押して「再生画面へ」を選ぶ



■画面を消灯 / 点灯させる

一定時間（110 ページで設定した時間）操作しないでいると自動的に画面は消灯しますが、本機の [-POWER] ボタンを押して画面の消灯 / 点灯を切り換えることができます。

■再生設定をする（リピート・ランダム）

音楽再生画面で [MENU] ボタンを押して「ランダム設定」または「リピート設定」を選ぶ

設定項目	設定内容　　　　（※：お買い上げ時の設定）
ランダム設定	順不同に再生するかを設定します。オンに設定すると選択したアルバム内を順不同に再生します。 **※ オフ　　　　オン**
リピート設定	繰り返し再生するかを設定します。 **※ オフ　　　　1 曲リピート　　　　全曲リピート**

■音楽リスト画面で詳細を表示する

音楽リスト画面で詳細表示したいプレイリストや曲を選び、十字キーの中央を押したままにしておくと詳細情報を表示します。

● 詳細表示からリスト画面に戻るには「戻る」を選んでください。

■レジューム機能

前回停止したところから再生します。

次のページに続く

戻る

お知らせ

- 音楽を再生中に [-POWER] ボタンを押すと、再生したままで画面が消灯します。音楽を聴かない場合は、停止してから [-POWER] ボタンを押してください。
- SD カードに録画中や当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーで SD カードに転送中は「SD-Audio」表示のある曲を再生できません。
- 本機で音楽の消去はできません。パソコンなど転送した機器で消去してください。

■ファイルの分類

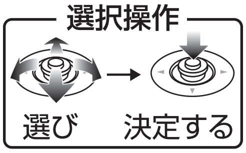
全曲	選んでいる内蔵メモリーまたは SD カード内のすべての曲から選べます。リストはアルファベット → かな → 漢字の順で表示されます。
アーティスト	音楽データにアーティスト情報がある場合は、アーティストごとに分類された中から選べます。 ● アーティスト情報がない場合は「不明なアーティスト」と表示されます。
アルバム	音楽データにアルバム情報がある場合は、アルバムごとに分類された中から選べます。 ● アルバムの場合はジャケット画像が表示されます。ジャケット画像がない場合は固定の画像が表示されます。 ● アルバム情報がない場合は、「不明なアルバム」またはファイルが含まれるフォルダ名が表示されます。
ジャンル	音楽データにジャンル情報がある場合は、ジャンルごとに分類された中から選べます。 ●「SD-Audio」が表示される曲（P64）はジャンル情報がありません。
プレイリスト	**新曲※** 当社製ステレオシステムや当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）で新曲転送された曲を選べます。 **マイベスト※** 当社製マイベスト機能搭載オーディオ機器でマイベストに分類された曲を選べます。 **ウキウキ系/癒し系/ゆったり系/騒ぎたい感じ/ポップ系/切ない感じ/ノリノリ系※** 当社製ステレオシステムや当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）などで印象に分類されたプレイリストから選べます。 **ユーザープレイリスト** Windows Media Player や当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）でお客様が作成されたプレイリスト（再生リスト）から選べます。 ● 上記のプレイリストは、プレイリストがある場合のみ表示します。 ●「※」のプレイリストは、「SD-Audio」が表示される曲（P64）がある場合のみ表示します。

- 「全てのアーティスト」を選ぶとすべてのアーティストのアルバムを一覧表示します。
- 「全てのアルバム」を選ぶとすべてのアルバムの曲をアルバム単位の曲順で一覧表示します。
- 「全てのジャンル」を選ぶとすべてのジャンルのアーティストを一覧表示します。

写真を再生する

デジタルカメラなどで撮影した JPEG 形式のファイルを選んで表示したり（シングル表示）、1 枚ずつ順番に再生する（スライドショー）ことができます。

写真を表示する（シングル表示）



1 [HOME] ボタンを押す



ホーム画面が表示されます。

2 「（写真）」アイコンを選ぶ

写真が一覧表示されます。



ファイルが保存されているメモリーを切り換える場合

1 （写真一覧画面で）
[MENU] ボタンを押す

2 「再生メモリー切り替え」を選ぶ

3 「内蔵メモリー」または「SD カード」を選ぶ

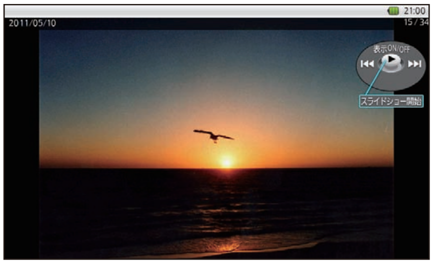
3 写真一覧画面から再生したい写真を選ぶ

選んだ写真がシングル表示されます。
操作表示はしばらくすると消えます。

写真一覧画面



シングル表示画面



シングル表示の写真の画像が粗い場合があります。

シングル表示画面はサムネイル※の拡大画像を一時的に表示後、主画像の写真を表示します。このため、一覧画面から写真を選んでシングル表示したときやシングル表示で画像を切り換えたときは、画像の粗い写真が表示される場合があります。（写真のファイルサイズが大きい場合は数秒表示されることもあります）

※「サムネイル」とは、複数の画像を一覧表示するために縮小した画像のことです。

◇ 一覧画面に戻るには

[RETURN] ボタンを押してください。

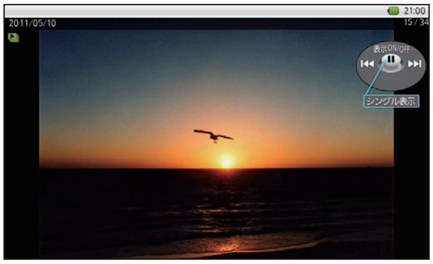
次のページに続く

写真を順番に再生する（スライドショー）

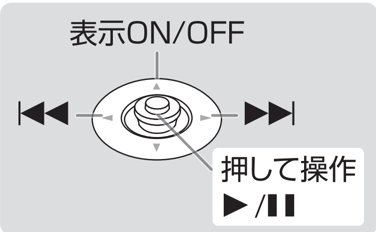
準備　●写真をシングル表示しておく（P68）

十字キーの中央を押す

順番に写真の再生が始まり、繰り返し再生します。



■再生操作をする



十字キーを傾けて操作します。

表示 ON/OFF　：後ろに傾けるたびに十字キー操作ガイドなどの情報の表示 / 非表示を切り換え

⏮ / ⏭　：スキップ（戻る / 送る）

十字キーの中央を押して操作します。

▶/❚❚　：再生（スライドショー）/ 一時停止（シングル表示）

◇ 一覧画面に戻るには

[RETURN] ボタンを押してください。

次のページに続く

■一覧画面で詳細情報を確認する

写真のファイル名、写真を記録（または更新）した日付、画素数、ファイルサイズを表示します。写真一覧画面で詳細情報を確認したい写真を選び、十字キーの中央を押したままにしてください。

「コピー」 ☞P 73　　「消去」 ☞P75

詳細情報を消して元の画面に戻るには [RETURN] ボタンを押してください。

■音楽や radiko.jp を聴きながら写真を見るには

先に音楽の再生や radiko.jp を起動してから、[HOME] ボタンを押してホーム画面に戻って「（写真）」を選んでください。

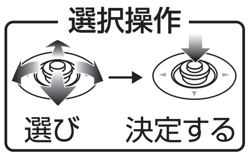
お知らせ

- 「SD_VIDEO」「SD_AUDIO」フォルダー内のファイルは再生できません。パソコンの写真を転送する場合はこれらのフォルダーに転送しないでください。
- 一覧画面などではサムネイル画像を表示します。サムネイル画像がないなど、ファイルによって一覧画面などでサムネイル画像が表示できない場合は「」を表示します。

写真を検索する

日付別に写真を表示する

準備	●写真を一覧表示しておく（P68） ●検索する保存先メモリーを選んでおく（P68）



1 [MENU] ボタンを押す



2 「写真を選ぶ」を選ぶ



3 「日付検索」を選ぶ



4 表示したい日付を選ぶ

選んだ日付に記録された写真が一覧表示されます。

5 表示したい写真を選ぶ

選んだ写真をシングル表示します。

◇ 元の一覧画面（すべての写真の一覧）に戻したい場合

一覧画面で [MENU] ボタンを押して「写真を選ぶ」を選び、「全ての写真」を選んでください。

お知らせ

- 日付表示できる範囲は 2037 年 12 月 31 日までです。
- 日付は写真の撮影日となります。写真ファイルに撮影日の情報がない場合、更新日（写真を本機の内蔵メモリーに転送した日やパソコンなどで編集した日）が表示されます。

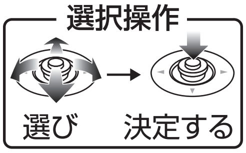
次のページに続く

フォルダー別に写真を表示する

本書では、以下のフォルダー構造の場合に写真を選ぶ操作で説明しています。



準備　●写真一覧を表示しておく（P68）



1 [MENU] ボタンを押す



2 「写真を選ぶ」を選ぶ

3 「フォルダ検索」を選ぶ



4 表示したいフォルダーを選ぶ

●現在開いているフォルダー内に写真とフォルダーがある場合、「このフォルダの写真」が表示されます。

※１ 本例の場合、フォルダー構造説明の「XXXXXXX1.JPG」ファイルを選ぶ場合

●「」で表示されるフォルダーは、さらに下の階層にフォルダーが存在します。

※２ 本例の場合、フォルダー構造説明の「Pictures」フォルダー内にさらに「2011.5.10」フォルダーが存在

探しているフォルダーが見つかるまでこの操作を繰り返してください。

5 写真を選ぶ

選んだ写真をシングル表示します。

◇ 元の一覧画面（すべての写真の一覧）に戻したい場合

一覧画面で [MENU] ボタンを押して「写真を選ぶ」を選び、「全ての写真」を選んでください。

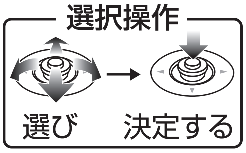
写真をコピーする（内蔵メモリー ←→ SD カード）

内蔵メモリーの写真を SD カードへコピーしたり、SD カードの写真を内蔵メモリーへコピーします。

- 写真コピーの操作をしているときに、パソコンと接続するとコピーを中止します。
- 他機でプロテクト設定やお気に入り登録した写真をコピーしてもこれらの設定はコピーされません。

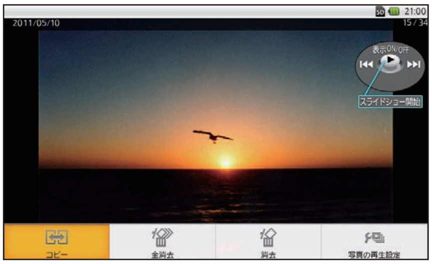
1 枚ずつコピーする

準備　● SD カードを本機に入れておく（P13）



1 コピーする写真をシングル表示にする（P68）

2 [MENU] ボタンを押して「コピー」を選ぶ



3 確認画面で「はい」を選ぶ

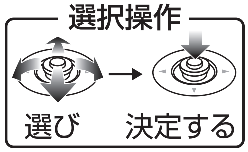
お知らせ

- 一覧画面でコピーしたい写真を選び十字キーの中央を押したままにして、詳細情報画面からコピーすることもできます。（P70）
- 電池残量表示が「　」になっているときはコピーできません。

次のページに続く

戻る

複数の写真を選んでコピーする



準備　● SD カードを本機に入れておく（P13）

1 写真を一覧表示にする（P68）

2 [MENU] ボタンを押して「コピー」を選ぶ



3 コピーする写真を選ぶ

選んだ写真に「✓」（チェック）が入ります。

● もう一度選ぶとチェックが消え、選択が解除されます。

4 コピーする写真をすべて選んだあと [MENU] ボタンを押して、「はい」を選ぶ

お知らせ

● 複数の写真をコピーする場合、コピー中に [RETURN]、[HOME]、[TV]、[-POWER] ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降の写真のコピーを中止します。

● 電池残量表示が「　」になっているときはコピーできません。

写真を消去する

写真を消去するには、現在表示中の写真を消去する方法、写真を選んで複数の写真を消去する方法、内蔵メモリーもしくは SD カード内のすべての写真を消去する方法があります。

- 消去の操作をしているときに、パソコンと接続すると消去を中止します。
- 当社製デジタルカメラやポータブルテレビなどでプロテクト設定された写真は本機で消去できません。

選んでいる 1 枚だけを消去する

1 消去する写真をシングル表示にする（P68）

2 [MENU] ボタンを押して「消去」を選ぶ



3 確認画面で「はい」を選ぶ

お知らせ

- 一覧画面で消去したい写真を選び十字キーの中央を押したままにして、詳細情報画面から消去することもできます。（P70）
- 電池残量表示が「 」になっているときは消去できません。

次のページに続く

戻る

選んで消去する

1 写真を一覧表示にする（P68）

2 [MENU] ボタンを押して「選択消去」を選ぶ



3 消去する写真を選ぶ

選んだ写真に「✓」（チェック）が入ります。

- もう一度選ぶとチェックが消え、選択が解除されます。

4 消去する写真をすべて選んだあと、[MENU] ボタンを押して、「はい」を選ぶ

お知らせ

- 複数の写真を消去する場合、消去中に [RETURN]、[HOME]、[TV]、[-POWER] ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降の写真の消去を中止します。（中止するまでに消去された写真は元に戻すことはできません）
- 電池残量表示が「□」になっているときは消去できません。

すべて消去する

1 [MENU] ボタンを押して「全消去」を選ぶ

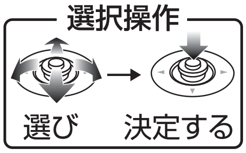
2 確認画面で「はい」を選ぶ

お知らせ

- 複数の写真を消去する場合、消去中に [RETURN]、[HOME]、[TV]、[-POWER] ボタンのいずれかを押すと、ボタンを押した以降の写真の消去を中止します。（中止するまでに消去された写真は元に戻すことはできません）
- 電池残量表示が「□」になっているときは消去できません。

写真の再生設定

準備　● 写真を一覧表示しておく（P68）



[MENU] ボタンを押して、次の順で選ぶ

写真の再生設定 → 希望の設定項目 → 希望の設定内容

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
写真回転表示	写真をシングル表示する場合や順番に再生する場合、写真の回転情報に基づいて自動的に回転します。 ※☑：回転します　☐：回転しません ● 撮影した機器によっては、回転できない場合があります。
ズーム設定	写真の画像横縦比が「16:9」以外の写真の場合に、左右または上下に現われる帯が表示されなくなるまで写真をズーム表示します。 ☑：ズーム表示します　※☐：ズーム表示しません ● 帯が表示されなくなるまでズーム表示するため、写真の上下または左右の一部が欠けて表示されます。
スライドショー効果	※ **フェード** 次の写真を徐々に表示して写真を切り換えながら再生します。 **スライドイン（左右）** 画面右側から左側へ流れるように写真を切り換えながら再生します。 **スライドイン（上下）** 画面上から下へ流れるように写真を切り換えながら再生します。
スライドショー間隔	**短い**　約 1 秒間隔で写真を切り換えます。 ※ **標準**　約 6 秒間隔で写真を切り換えます。 **長い**　約 10 秒間隔で写真を切り換えます。 ● 写真のファイルサイズが大きい場合は、設定にかかわらず、切り換わるまで時間がかかる場合があります。

◇ 元の画面に戻るには

[RETURN] ボタンを押してください。

無線 LAN 機能の使用上のお願い

無線 LAN を利用すると、家庭内で構築した無線 LAN 環境を経由して他機器と無線接続することができます。

- ご自宅などで接続するには、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が必要です。

■機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機を分解 / 改造することは、電波法で禁止されています。

■使用制限

本機の使用にあたり、以下の制限がありますので予めご了承ください。
制限をお守りいただけなかった場合、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- **本機は無線 LAN 機器としてお使いください。**
- **無線 LAN 機能は日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
  無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID ※）が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされる恐れがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
  次の機器の付近などで使用すると、通信がとぎれたり、速度が遅くなることがあります。
  - ・電子レンジ
  - ・デジタルコードレス電話機
  - ・その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く（Bluetooth® 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）

  本機は無線 LAN の IEEE802.11b/g（2.4 GHz）規格に対応しています。
  当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーや DLNA 対応機器などと家庭内の無線 LAN でご使用される場合は、IEEE802.11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。また暗号化方式は「AES」にしてください。
- **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

※ 無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

次のページに続く

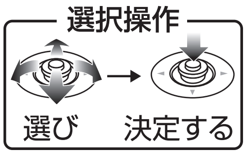
無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

お知らせ

- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）への接続は、SSID や暗号キーが必要になる場合があります。詳しくは無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を設定した管理者にご確認ください。
- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定については無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をお読みください。
- 無線 LAN は、電波強度が十分得られる場所でご使用ください。

無線でネットワーク接続する

準備 ●[HOME] ボタンを押して、ホーム画面を表示しておく（P20）



1 「（設定）」アイコンを選ぶ

設定メニューが表示されます。



2 「無線とネットワーク」を選ぶ



3 「Wi-Fi」を選び、オンにする

☑：オン　☐：オフ

オンにすると利用可能な Wi-Fi ネットワークの検出が始まります。
オンになったあと、次のいずれかの方法で接続してください。



- Wi-Fi オンになるまで数秒かかる場合があります。
- 一度接続した接続履歴のあるWi-Fiネットワークには自動で接続するので、以下の操作は必要ありません。

■Wi-Fi 簡単設定で接続する（P81）

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が AOSS™ や WPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応している場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）とかんたんに接続できます。

■検出されたネットワークから選択して接続する（P82）

セキュリティが設定された Wi-Fi ネットワークの場合、パスワードを入力する必要があります。

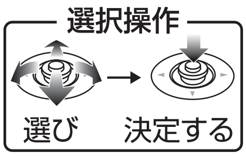
■手動で接続する（P82）

ネットワーク SSID や認証方式などを手動で設定して接続します。あらかじめネットワーク SSID などの確認が必要です。

次のページに続く

お知らせ

- Wi-Fi オンに設定すると、無線 LAN 接続をしていなくても電池持続時間が短くなります。
- 電池残量が少なくなると自動的に Wi-Fi オフになります。電池残量表示が「 」以上の状態にしておくか、AC アダプターと接続しておいてください。（P15）
- Wi-Fi オンに設定していても、ワンセグテレビを起動すると Wi-Fi オフになります。（テレビ視聴をやめてホーム画面に戻ると自動的に Wi-Fi オンになりますが、切り換わるのに数秒かかる場合があります）



■Wi-Fi 簡単設定で接続する

1 「Wi-Fi 簡単設定」を選ぶ



2 登録するアクセスポイントの方式を選ぶ

WPS：プッシュ方式：WPS マークがある Wi-Fi Protected Setup™ 対応アクセスポイントでプッシュ方式に対応するアクセスポイントを登録する場合

WPS：PIN コード方式：WPS マークがある Wi-Fi Protected Setup™ 対応アクセスポイントで PIN コード方式に対応するアクセスポイントを登録する場合

AOSS：BUFFALO™ の AirStation™ など、AOSS™ マークがあるアクセスポイントを登録する場合

3 ■「WPS：プッシュ方式」を選んだ場合

アクセスポイント側の WPS ボタンをアクセスポイントのランプが点滅するまで押したままにしたあと、本機画面上の「接続」を選ぶ

■「WPS：PIN コード方式」を選んだ場合

本機画面上の PIN コードをアクセスポイントに設定してから、「接続」を選ぶ

■「AOSS」を選んだ場合

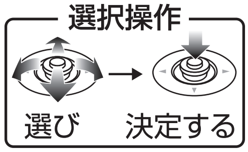
アクセスポイント側の AOSS™ ボタンをアクセスポイントのランプが点滅するまで押したままにしたあと、本機画面上の「接続」を選ぶ

4 接続完了画面で「OK」を選ぶ

次のページに続く

■検出されたネットワークから選択して接続する

準備　●「Wi-Fi」をオンに設定しておく（P80）



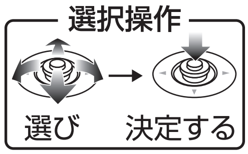
1 「Wi-Fi 設定」を選ぶ

2 検出されたネットワークから利用するネットワークを選び、「接続」を選ぶ

- セキュリティが設定された Wi-Fi ネットワークの場合（「 」）、パスワードを入力する必要があります。パスワードについては無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧になるか、設定した管理者にご確認ください。文字入力については 83 ページをお読みください。
- 利用可能なネットワークを再検出したいときは、「無線とネットワーク」→「Wi-Fi 設定」で「MENU」ボタンを押して「スキャン」を選んでください。

■手動で接続する

準備　●「Wi-Fi」をオンに設定しておく（P80）



1 「Wi-Fi 設定」を選ぶ

2 「Wi-Fi ネットワークを追加」を選ぶ

3 ネットワーク SSID を入力し、「セキュリティ」を選ぶ

- 文字入力については 83 ページをお読みください。
- 選んだ「セキュリティ」によって、その他必要な事項を設定してください。

4 「保存」を選ぶ

お知らせ

- ご自宅などの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を登録する場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書や設定をご確認ください。
- Wi-Fi 簡単設定で登録した場合、複数のセキュリティが設定されたネットワークが登録されることがあります。お使いのネットワークを選択してご利用ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

次のページに続く

文字入力をする

文字入力欄を選び、十字キーの中央を押すとキーボードが表示されます。十字キーで画面上のキーを選び、中央を押して入力します。
中央を押す回数に応じて、選んでいるキーに表示されている文字（かなの場合はその行に属する文字）を変化させます。

例：「ab」と入力する場合

❶ 

を選び十字キーの中央を 1 回押す

❷  を選び十字キーの中央を 1 回押す

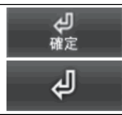
❸ 

を選び十字キーの中央を 2 回押す



- 文字を入力すると画面上に変換候補が表示されます。表示された変換候補を選んで入力することもできます。変換候補すべてを見る場合は [MENU] ボタンを押してください。候補画面を閉じる場合は再度 [MENU] ボタンを押してください。
- 文字入力欄を移動したい場合は、[RETURN] ボタンを押してキーボード表示を消してから、十字キーを前後に傾けて文字入力欄を移動させてください。

Ⓐ		**カーソル移動（左）**
Ⓑ		**同じキーで十字キーを繰り返し押して文字を変換する場合に、逆順に表示**
Ⓒ		**ひらがな/英字/数字入力の切り換え** あ：ひらがな入力 A：半角英字入力 1：半角数字入力 ● 文字入力画面によっては、入力できる文字の種類が制限されていて、切り換えできない場合があります。

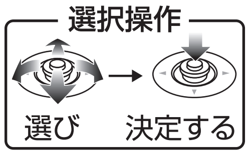
Ⓓ		**（英字 / 数字入力時）スペース** **（ひらがな入力時）変換候補の表示** ● 文字未入力時はスペースを入力します。
Ⓔ		**カーソル移動（右）**
Ⓕ		**文字消去** ● カーソルの前の文字を消去します。 ● 押したままにすると、連続して消去することができます。
Ⓖ		**半角記号**
Ⓗ		**入力文字の確定**

無線 LAN の詳細設定

■無線LANネットワークが検出されると本機に通知するように設定する

（お買い上げ時はオン（通知する）に設定されています）

1 [HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ



（設定）→ 無線とネットワーク → Wi-Fi 設定

2 「ネットワークの通知」を選び、オンにする

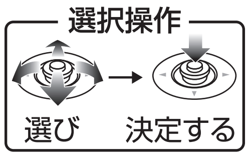
☑：オン（通知する）　☐：オフ（通知しない）

■無線 LAN ネットワークの詳細設定をする

以下の設定や確認をすることができます。

- 「静的 IP を使用する」：IP アドレス、ゲートウェイ、ネットマスク、DNS1、DNS2 の設定や MAC アドレスの確認ができます。
- 「AutoIP を使用する」：使用可能な IP アドレスを自動で付与します。

1 [HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ



（設定）→ 無線とネットワーク → Wi-Fi 設定

2 [MENU] ボタンを押して「詳細設定」を選び、「静的 IP を使用する」または「AutoIP を使用する」を選ぶ

- 「AutoIP を使用する」は Wi-Fi オフにしてから選んでください。

当社製お部屋ジャンプリンク(DLNA)対応レコーダーと無線接続

本機能に対応しているレコーダーは、2011 年 2 月以降発売の当社製お部屋ジャンプリンク(DLNA)対応レコーダーのみです。

対応機器の品番(2011 年 3 月現在)
DMR-BZT900、DMR-BZT800、DMR-BZT700、DMR-BZT600、DMR-BWT500

対応機種については下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/viera_1/

当社製お部屋ジャンプリンク(DLNA)対応レコーダーと無線 LAN でネットワーク接続し、レコーダーを通してテレビ視聴したり、レコーダーの HDD 内のビデオファイルを再生したり、本機に転送することができます。

- 接続しようとするレコーダーが他の DLNA 対応機器と接続中の場合は、本機を接続しないでください。1 台のレコーダーに 2 台以上の DLNA 対応機器を接続することはできません。
- 無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の暗号化(セキュリティ)設定が必要です。(P78)

■当社製お部屋ジャンプリンク(DLNA)対応レコーダーを使ってできること

テレビ視聴 **お部屋ジャンプリンク** ☞ P87	レコーダーで視聴できる放送を本機で視聴することができます。
再生 **お部屋ジャンプリンク** ☞ P88	レコーダーのHDD内の録画番組と写真を再生することができます。
ビデオ転送 ☞ P89	レコーダーのHDD内の録画番組を転送することができます。
かんたん自動転送設定 ☞ P91	レコーダーの HDD 内の「かんたん転送」に登録した録画番組を、いつの時点の録画番組を転送するかや、転送するタイミングを指定して自動的に転送するように設定することができます。

■DLNA を使って本機で再生できるファイル

「本機で再生できるファイル形式」(P46)をお読みください。

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 音楽ファイルについては2011年3月現在、本機での再生/転送に対応している当社製レコーダーはありません。

次のページに続く

戻る

当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーを使用中に本機でできる機能（2011 年 3 月現在）

○：できる
×：できない※1

レコーダーの状態	本機の「(DIGA)」アプリケーションの動作 テレビ視聴	再生（ビデオ） 通常の番組※4	再生（ビデオ） 持ち出し番組※5	再生（写真）	ビデオ転送 / かんたん自動転送
放送視聴中	○※6	○	○	○	○
「番組表」表示中	○	○	○	○	○
「予約一覧」表示中	○	○	○	○	○
「録画一覧」表示中	○	○	○	○	×
録画番組再生中	×	×	○	○	×
1 番組録画中※2	×	×	○※7	○※7	○※7
2 番組以上録画中※2	×	×	×	×	×
高速ダビング中（HDD ↔ BD/DVD）ファイナライズあり	×	×	×	×	×
高速ダビング中（HDD ↔ BD/DVD）ファイナライズなし	×	×	○	×	×
1 倍速ダビング中（HDD ↔ BD/DVD）※3	×	×	×	×	×
「テレビでネット」/「お部屋ジャンプリンク（DLNA）」/「ビデオコミュニケーション」利用中	×	×	×	×	×
ドアホン（センサーカメラ）録画・再生中	×	×	○	○	○
音楽録音中・転送中	×	×	○	×	○

● 本機の「(DIGA)」アプリケーション対応レコーダーについては 85 ページをお読みください。

※1
- 無線 LAN 接続して、本機でレコーダーの放送や録画番組などを視聴したり、録画番組を転送する場合、レコーダーの操作完了後に再度実行してください。
  本機の操作を優先する場合は、レコーダーで該当操作を停止後に再度実行してください。
- 無線 LAN 接続して、本機でレコーダーの放送や録画番組視聴中でも、レコーダー本体の操作が優先されます。この場合、本機に下記のメッセージが表示されます。

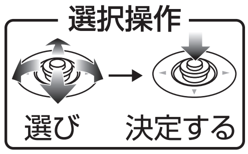
処理を実行できませんでした。 以下の要因が考えられます。 ・サーバー側で操作中 ・通信エラー ・その他のエラー	視聴を開始できませんでした。 以下の要因が考えられます。 ・DIGA 本体で操作中 ・視聴できない番組 ・その他のエラー	視聴 / 再生できませんでした。 以下の要因が考えられます。 ・再生できないコンテンツ ・サーバー側で操作中 ・通信エラー ・その他のエラー

※2　レコーダーの電源状態（ON/OFF）は影響ありません。
※3　1 倍速ダビングとは、録画モードの変換を伴うダビングのことです。
※4　持ち出し番組以外の番組
※5　持ち出し方法設定時に「ネットワーク経由」を選択した番組
※6　入力切換で「L1」「DV」に設定されているときは視聴することができません。
※7　スカパー！ HD の番組を録画中は本機で操作できません。

次のページに続く

戻る

テレビを視聴する お部屋ジャンプリンク



準備
- 本機を無線 LAN に接続しておく（P80）
- DIGA 側でお部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をしておく

1 [HOME] ボタンを押す



ホーム画面が表示されます。

2 「（DIGA）」アイコンを選ぶ

DIGA メニューが表示されます。
- 音楽やradiko.jpを聴いている場合、音楽やradiko.jpを停止します。

初めて DIGA メニューを使う場合は
DLNA 対応機器一覧が表示されます。
接続したいレコーダーを選んでください。



3 「テレビ視聴」を選ぶ

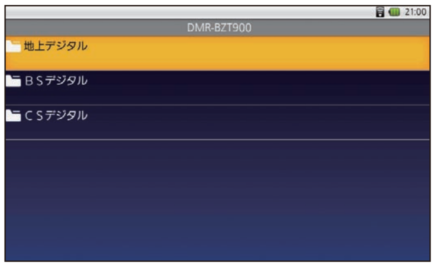
DIGA メニュー画面

現在接続しているレコーダー



接続するレコーダーを変更する ☞ P94

4 受信放送を選ぶ



5 チャンネルを選ぶ

- [MENU] ボタンを押して「再読み込み」を選ぶとチャンネルの読み込みをし直します。
- 表示されるチャンネル番号は、レコーダーに表示されるチャンネル番号（3 桁表示）になります。

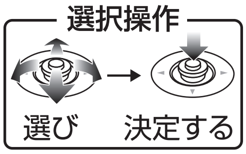
■視聴中にチャンネルを切り換えるには

[RETURN] ボタンを押してチャンネル一覧を表示し、チャンネルを選んでください。

お知らせ
- 視聴する番組は、実際の放送よりも十数秒遅れて表示されます。ネットワークの状況によってはそれ以上遅れることがあります。
- 連続して 8 時間以上は視聴できません。

次のページに続く

録画番組や写真を再生する お部屋ジャンプリンク



レコーダーの HDD 内の録画番組と写真を再生することができます。

準備
- 本機を無線 LAN に接続しておく（P80）
- DIGA 側でお部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をしておく

1 [HOME] ボタンを押す

ホーム画面が表示されます。



2 「(DIGA)」アイコンを選ぶ

DIGA メニューが表示されます。

- 音楽やradiko.jpを聴いている場合、音楽やradiko.jpを停止します。

初めて DIGA メニューを使う場合は
DLNA 対応機器一覧が表示されます。
接続したいレコーダーを選んでください。



3 「再生」を選ぶ

DIGA メニュー画面



現在接続しているレコーダー

接続するレコーダーを変更する ☞ P94

4 分類を選び、見たいファイルを選ぶ

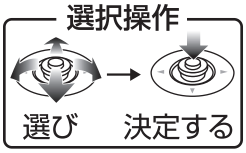
- [MENU] ボタンを押して「再読み込み」を選ぶとファイルの読み込みをし直します。

ビデオファイルの再生操作をする ☞ P56
写真の再生操作をする ☞ P69
再生設定をする ☞ P98

お知らせ
- 録画番組を再生する場合、ファイルのスキップには対応していません。
- レコーダーで途中まで視聴していた録画番組を本機で再生しても、レコーダーで視聴していた続きから再生されず、ファイルの先頭からの再生になります。
- レコーダーで「持ち出し番組」を作成していない録画番組を再生時は、操作から少し遅れて動作します。

次のページに続く

録画番組を転送する



レコーダーの HDD 内の録画番組を転送することができます。

- 録画番組を転送するには、レコーダーでネットワーク経由の持ち出し番組を作成しておく必要があります。詳しくはレコーダーの取扱説明書をお読みください。

準備
- 本機を無線 LAN に接続しておく（P80）
- DIGA 側でお部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をしておく

1 [HOME] ボタンを押す

ホーム画面が表示されます。



2 「(DIGA)」アイコンを選ぶ

DIGA メニューが表示されます。
- 音楽やradiko.jpを聴いている場合、音楽やradiko.jpを停止します。

初めて DIGA メニューを使う場合は
DLNA 対応機器一覧が表示されます。
接続したいレコーダーを選んでください。



3 「ビデオ転送」を選ぶ

DIGA メニュー画面



接続するレコーダーを変更する　☞ P94

4 [MENU] ボタンを押して次の順で選んで転送先を設定する

転送先メモリー選択 → 内蔵メモリー　または　SD カード

- お買い上げ時は「内蔵メモリー」に設定されています。

次のページに続く

5 転送方法を選ぶ

「持ち出し番組一覧から選択」：レコーダーの HDD 内の持ち出し番組を選んで転送します。

「かんたん自動転送を実行」：92 ページで設定している期間分、レコーダーの HDD 内に作成された「かんたん転送」に登録した持ち出し番組の転送を今すぐ開始します。

6

■「持ち出し番組一覧から選択」を選んだ場合

転送するファイルを選び、「OK」を選ぶ

● [MENU] ボタンを押して「再読み込み」を選ぶとファイルの読み込みをし直します。

■「かんたん自動転送を実行」を選んだ場合

確認画面で「OK」を選ぶ

転送が始まります。

● 転送中は、ステータスバーのダウンロードアイコン「⤓」が動き、動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。

転送中に転送をキャンセルする ☞ P94

◇ 転送完了すると

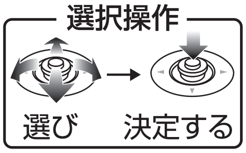
ダウンロードアイコン「⤓」が消えます。転送した番組の履歴は DIGA メニュー画面で、[MENU] ボタンを押して「転送一覧」を選ぶと確認できます。

お知らせ

● 転送にかかる時間の目安は 1 時間の録画番組を転送する場合、約 20 分かかります。（転送時間はご使用の無線 LAN 環境で多少変わります）
● 転送できる番組の時間は録画可能時間（P131）よりも少なくなります。（録画可能時間の約 4 分の 1）
　例：内蔵メモリーや SD カードの残量表示が 12 時間の場合、約 3 時間の番組の転送が可能
● 電池残量が少なくなると自動的に Wi-Fi オフになります。転送時に電池残量表示が「▮▮」以上の状態にしておくか、AC アダプターと接続しておいてください。（P15）
● 転送中に本機でビデオファイルを再生した場合、再生画面が乱れたりとぎれたりすることがあります。
● 以下の場合、SD カードへ転送することはできません。
  - SD カードの録画番組を再生しているとき
  - SD カードに録画しているとき
  - 音楽リスト画面で「SD-Audio」表示のある曲を再生しているとき
● SD カードに転送する場合、最大 99 番組まで転送可能です。（99 番組には、本機で録画した番組やレコーダーなど他の機器で録画した番組を含みます）
● SD カードに転送中は、SD カードの録画番組や「SD-Audio」表示のある曲を再生できません。
● SD カードに転送する場合、3.86 GB（最大約 5 時間 25 分※）を超えるファイルは転送できません。※ビットレート約 1.7 Mbps で計算
（ビットレートは録画番組により変化するため、転送可能な番組の時間は前後します）
● 本機に転送すると、レコーダーの持ち出し番組のコピー制限残り回数が 1 つ減ります。
● レコーダーで途中まで視聴していた持ち出し番組を転送して本機で再生する場合、レコーダーで視聴していた続きから再生されず、ファイルの先頭からの再生になります。

次のページに続く

録画番組を自動転送する



レコーダーの HDD 内の録画番組をいつの時点の HDD 内の録画番組を転送するかや、転送するタイミングを指定して自動的に本機に毎日転送するように設定することができます。

- 録画番組を転送するには、レコーダーでネットワーク経由の持ち出し番組を作成しておく必要があります。詳しくはレコーダーの取扱説明書をお読みください。

準備
- 本機を無線 LAN に接続しておく（P80）
- DIGA 側でお部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定をしておく

1 [HOME] ボタンを押す

ホーム画面が表示されます。



2 「（DIGA）」アイコンを選ぶ

DIGA メニューが表示されます。
- 音楽やradiko.jpを聴いている場合、音楽やradiko.jpを停止します。

初めて DIGA メニューを使う場合は
DLNA 対応機器一覧が表示されます。
接続したいレコーダーを選んでください。



3 「かんたん自動転送設定」を選ぶ

DIGA メニュー画面

現在接続しているレコーダー



接続するレコーダーを変更する ☞ P94

次のページに続く

4 設定項目を選んで設定する

●転送先メモリーを変更する場合は、[MENU] ボタンを押して「転送先メモリー選択」を選び、内蔵メモリーに転送するか SD カードに転送するかを選んでください。

かんたん自動転送設定画面



設定項目	設定内容　　　　（※：お買い上げ時の設定）
名前	接続機器の名前を変更できます。文字入力については 83 ページをお読みください。
自動転送を有効にする	自動転送設定を有効にするか無効にするかを切り換えます。 ✓：設定したかんたん転送の内容で自動転送を実行します。 ※ ☐：転送しません。
録画番組転送期間指定	いつまでさかのぼって録画番組を転送するかを設定します。 **※最新 3 日分**　**最新 1 週間分** **最新 2 週間分**　**期間制限なし**
転送開始時刻指定	毎日自動で転送する時刻を設定します。 **1「変更」を選ぶ** **2 時刻入力画面で十字キーを前後に傾けて時刻を入力する** **3 十字キーを右に傾けて「設定」を選ぶ** **4 十字キーを前に傾けて「OK」を選ぶ**  十字キーの中央を押してチェックを入れると、開始時刻に AC アダプターに接続しているときのみ自動転送を行います。

◇ DIGA メニュー画面に戻るには

[RETURN] ボタンを押してください。

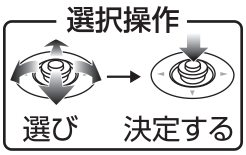
転送中に転送をキャンセルする　☞ P94

次のページに続く

お知らせ

- 既に転送済みのファイルは重ねて転送されません。
- 転送にかかる時間の目安は 1 時間の録画番組を転送する場合、約 20 分かかります。（転送時間は、ご使用の無線 LAN 環境で多少変わります）
- 転送できる番組の時間は録画可能時間（P131）よりも少なくなります。（録画可能時間の約 4 分の 1）
  例：内蔵メモリーや SD カードの残量表示が 12 時間の場合、約 3 時間の番組の転送が可能
- 電池残量が少なくなると自動的に Wi-Fi オフになります。自動転送時に電池残量表示が「」以上の状態にしておくか、AC アダプターと接続しておいてください。（P15）
- 転送中に本機でビデオファイルを再生した場合、再生画面が乱れたりとぎれたりすることがあります。（転送中は動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します）
- 以下の場合、SD カードへ転送することはできません。
  - SD カードの録画番組を再生しているとき
  - SD カードに録画しているとき
  - 音楽リスト画面で「SD-Audio」表示のある曲を再生しているとき
- SD カードに転送する場合、最大 99 番組まで転送可能です。（99 番組には、本機で録画した番組やレコーダーなど他の機器で録画した番組を含みます）
- SD カードに転送中は、SD カードの録画番組や「SD-Audio」表示のある曲を再生できません。
- SD カードに転送する場合、3.86 GB（最大約 5 時間 25 分※）を超えるファイルは転送できません。※ビットレート約 1.7 Mbps で計算
  （ビットレートは録画番組により変化するため、転送可能な番組の時間は前後します）
- 本機に転送すると、レコーダーの持ち出し番組のコピー制限残り回数が 1 つ減ります。
- コピー制限の残り回数が「1」のファイルは転送されません。

■現在設定中のかんたん転送する機器を確認 / 変更 / 取り消しする



1 DIGA メニュー画面（P87）で、[MENU] ボタンを押す



2 「かんたん自動転送登録一覧」を選ぶ

3 確認 / 変更 / 取り消ししたい登録を選ぶ

4 ■ 変更する場合

変更したい項目を選び、自動転送設定を変更する

■ 取り消す場合

「自動転送を有効にする」を選び、チェックを外す

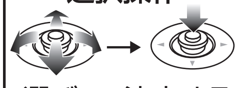
◇ DIGA メニュー画面に戻るには

[RETURN] ボタンを押してください。

次のページに続く

■転送中に転送をキャンセルする

選択操作

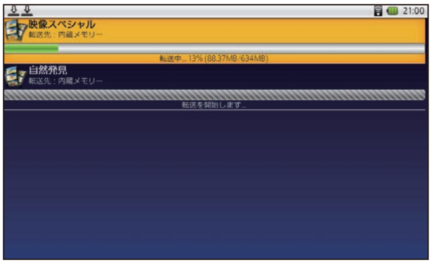


1 DIGA メニュー画面（P87）で、
[MENU] ボタンを押して「転送一覧」を選ぶ

2 プログレスバーの表示されているファイルで十字キーの中央を押したままにして、「転送をキャンセル」を選ぶ

- 複数のファイルを転送している場合、[MENU] ボタンを押して「全転送をキャンセル」を選び、「OK」を選ぶとすべての転送をキャンセルできます。
- 転送一覧画面で、[MENU] ボタンを押して「リストを消去」を選び、「OK」を選ぶと転送履歴を消去できます。

転送一覧



接続するレコーダーを変更する

複数の当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーをお持ちの場合、接続するレコーダーを変更します。

1 DIGA メニュー画面（P87）で、
「DIGA 選択」を選ぶ

2 接続したいレコーダーを選ぶ

現在接続しているレコーダー



パソコンなど家庭内の DLNA 対応機器と無線接続

ネットワーク接続して、パソコンや DLNA 対応機器に記録された動画や写真、音楽などを本機で再生したり、本機に転送することができます。

■DLNA を使って本機で再生できるファイル

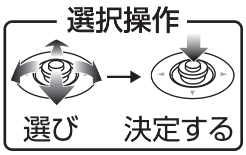
「本機で再生できるファイル形式」（P46）をお読みください。

- ファイルによっては再生位置を正しく変更できない場合があります。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- DLNA 対応機器で対応していないファイルは本機で再生することはできません。
- すべての DLNA 対応機器との動作を保証するものではありません。

- DLNA 対応機器の取扱説明書もお読みください。

接続する機器を選び、再生する

準備　● 本機と接続する機器を無線 LAN に接続しておく（P80）



1 [HOME] ボタンを押す

ホーム画面が表示されます。



2 「（ネットワークメディアプレーヤー）」アイコンを選ぶ

接続できる機器一覧が表示されます。

- 音楽やradiko.jp を聴いている場合、音楽やradiko.jp を停止します。



3 接続したい機器を選ぶ

次のページに続く

戻る

4 再生したいファイルを選ぶ

ビデオファイルの再生操作をする ☞ P56
写真の再生操作をする ☞ P69
音楽の再生操作をする ☞ P65
再生設定をする ☞ P98

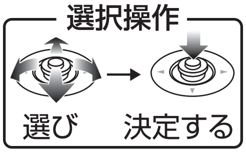
お知らせ

- ビデオファイルを再生する場合、ファイルのスキップには対応していません。
- 接続できる機器の一覧に当社製 DLNA 対応レコーダーも表示されますが、録画番組の再生や転送機能に対応していない機器も表示されます。2011 年 2 月発売以降のお部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーと無線 LAN 接続してご使用される場合は、ホーム画面で「（DIGA）」アイコンを選んでください。（P88、89）

次のページに続く

パソコン内のファイルなどを本機に転送する

準備　● DLNA 対応機器と接続しておく（P95）



1 [MENU] ボタンを押して次の順で選び、転送先を設定する

転送先メモリー選択 → 内蔵メモリー　または　SD カード

● お買い上げ時は「内蔵メモリー」に設定されています。

2 転送したいファイルで十字キーの中央を押したままにし、「OK」を選ぶ

転送が始まります。
転送中は、ステータスバーのダウンロードアイコン「 」が動き、動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します。

■転送中に転送をキャンセルする

1 [MENU] ボタンを押して「転送一覧」を選ぶ

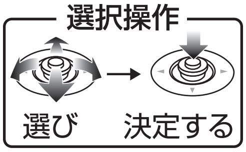
2 プログレスバーの表示されているファイルで十字キーの中央を押したままにして、「転送をキャンセル」を選ぶ

● 複数のファイルを転送している場合、[MENU] ボタンを押して「全転送をキャンセル」を選び、「OK」を選ぶとすべての転送をキャンセルできます。
● 転送一覧画面で、[MENU] ボタンを押して「リストを消去」を選び、「OK」を選ぶと転送履歴を消去できます。

お知らせ
● 転送中に本機でビデオファイルを再生した場合、再生画面が乱れたりとぎれたりすることがあります。
● SD カードにビデオ転送可能なファイルサイズは 4 GB までです。

ビデオ / 音楽 / 写真の再生設定をする

準備　● ビデオや音楽、写真の再生画面を表示しておく（P88、95）



[MENU] ボタンを押して希望の設定項目を選び、設定する

ビデオの再生設定

設定項目	設定内容　　（※：お買い上げ時の設定）
リピート設定	繰り返し再生するように設定することができます。 **※ オフ　　1 ファイル　　全ファイル**

音楽の再生設定

設定項目	設定内容　　（※：お買い上げ時の設定）
ランダム設定	順不同に再生するかを設定します。オンに設定すると選択したアルバム内を順不同に再生します。 **※ オフ　　オン**
リピート設定	繰り返し再生するかを設定します。 **※ オフ　　1 曲リピート　　全曲リピート**

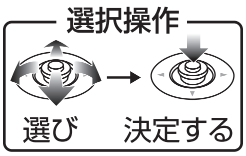
写真の再生設定

設定項目	設定内容　　（※：お買い上げ時の設定）
写真回転表示	オンに設定すると、写真をシングル表示する場合や順番に再生する場合、写真の回転情報に基づいて自動的に回転します。 **オフ　　※ オン** ● 撮影した機器によっては、回転できない場合があります。
ズーム設定	オンに設定すると、写真の画像横縦比が「16:9」以外の写真の場合に、左右または上下に現われる帯が表示されなくなるまで写真をズーム表示します。 **※ オフ　　オン** ● 帯が表示されなくなるまでズーム表示するため、写真の上下または左右の一部が欠けて表示されます。
スライドショー効果	**※ フェード** 次の写真を徐々に表示して写真を切り換えながら再生します。 **スライドイン（左右）** 画面右側から左側へ流れるように写真を切り換えながら再生します。 **スライドイン（上下）** 画面上から下へ流れるように写真を切り換えながら再生します。
スライドショー間隔	**短い**　約 1 秒間隔で写真を切り換えます。 **※ 標準**　約 6 秒間隔で写真を切り換えます。 **長い**　約 10 秒間隔で写真を切り換えます。 ● 写真のファイルサイズが大きい場合は、設定にかかわらず、切り換わるまで時間がかかる場合があります。

YouTube（ユーチューブ）を見る

YouTube 社が運営・管理している動画共有サイトに接続して、リストから見たい動画を選ぶことができます。

準備　●インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P80）



1 [HOME] ボタンを押す



ホーム画面が表示されます。

2 「(YouTube)」アイコンを選ぶ

YouTube メニュー画面が表示されます。

YouTube を起動時は

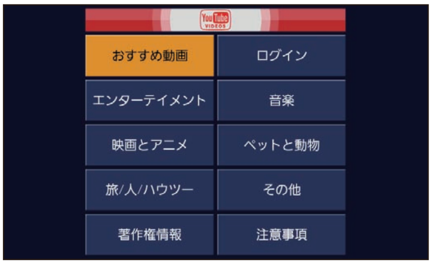
注意事項が表示されます。内容をお読みの上、十字キーの中央を押してください。



3 メニューから動画の分類を選ぶ

- キーワードを入力して検索したい場合などはログインする必要があります。ログインについては 102 ページをお読みください。

YouTube メニュー画面



4 リスト画面から見たい動画を選び、再生する

❶ リストから動画を選び、十字キーの中央を押す
❷ 再生画面を選び、十字キーの中央を押す

本機の画面の大きさまで再生画面を拡大して再生します。

YouTube リスト画面



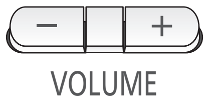
再生画面

次のページに続く

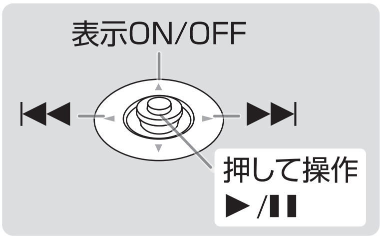
戻る

■音量を調整する

[VOLUME] ボタンを押す



■再生中の十字キー操作



十字キーを傾けて操作します。

表示 ON/OFF　：後ろに傾けるたびに十字キー操作ガイドなどの情報の表示/非表示を切り換え

⏮ / ⏭　：スキップ（戻る / 送る）

十字キーの中央を押して操作します。

▶/❚❚　：再生 / 一時停止

■リスト画面に戻る場合

[RETURN] ボタンを押してください。

お知らせ

- 本機で YouTube に動画を投稿する機能はありません。
- 日付や時刻が合っていない場合、YouTube が正しく表示されないことがあります。YouTube を見る前に日付や時刻が正しく設定されているかご確認ください。(P108)
- 転送中は、YouTube の再生画面が乱れたりとぎれたりすることがあります。(転送中は動作表示ランプが約 1 秒間隔で点滅します)
- 利用できるサービス内容や画面は予告なく変更となる場合があります。(2011 年 3 月現在)

- YouTube のコンテンツは、YouTube, LLC により独自に運営されています。
- 本機では、パソコンで閲覧できる YouTube のコンテンツで閲覧できないものがあります。
- YouTube のコンテンツには、お客様が不適切であると感じるような情報が含まれることがあります。
- 当社は、YouTube が提供するコンテンツに関して一切の責任を負いません。
- コンテンツ内容の不明点は YouTube ホームページよりお問い合わせください。
  http://www.youtube.com/t/contact_us

次のページに続く

戻る

YouTube リスト画面



A	**動画リストの分類選択** 「<」「>」を選ぶと分類を変更できます。 ● YouTube メニュー画面で「おすすめ動画」を選んだ場合は、下記の選択となります。 **日本**：日本の動画共有サイトを表示 **世界**：世界の動画共有サイトを表示 **カテゴリ別**：分類を表示
B	**動画リスト**
C	**詳細** 動画の内容や追加された日などを表示します。詳細を見たい動画をリストから選び、十字キーの中央を押して「詳細」を選んでください。 ● ログインしている場合は、詳細画面でお気に入りなどの登録ができます。詳しくは 103 ページをお読みください。 ● 詳細表示画面で「閉じる」を選ぶと通常のリスト画面に戻ります。

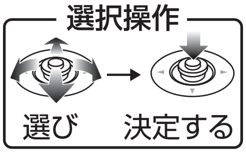
D	**連続再生** 十字キーを押すたびにオン/オフを切り換えます。オンにすると、動画リストの動画を連続で再生します。
E	**このユーザーの他の動画** 同じ投稿者の動画をリスト表示します。 ● リストの「閉じる」を選ぶと通常のリスト画面に戻ります。
F	**関連動画** 関連する動画をリスト表示します。 ● リストの「閉じる」を選ぶと通常のリスト画面に戻ります。
G	**再生画面**
H	**再生 / 一時停止**
I	**スキップ**

次のページに続く

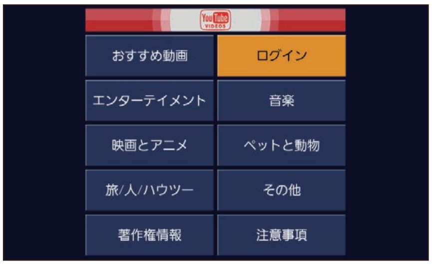
ログインして再生する動画を探す

動画の分類画面で「ログイン」を選んだ場合は、再生回数の多い動画リストから選んだり、動画をキーワードで検索したり、お気に入りに登録した画像から再生する動画を探すことができます。

準備
- YouTube のホームページにアクセスし、アカウントを作成しておく
- YouTube メニュー画面を表示しておく（P99）



1 「ログイン」を選ぶ



2 ユーザー名、パスワードを入力して「ログイン」を選ぶ

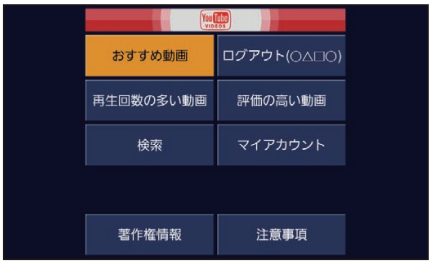
ログイン成功後、「OK」を選ぶ

文字入力のしかた　☞ P83



3 動画の分類を選ぶ

- 「検索」を選んだ場合は、文字入力欄を選んでキーワードを入力し、「検索」を選ぶとキーワードから検索された動画リストが表示されます。
- お気に入りに登録した動画（P103）を表示したい場合は「マイアカウント」を選んでください。



4 見たい動画を選ぶ

詳細画面については 103 ページをお読みください。



次のページに続く

戻る

お知らせ

● ログインしている場合は、次に YouTube を起動したときもログインされた状態になります。

◇ ログアウトする場合

❶ 102 ページの手順 3 で「ログアウト」を選ぶ

❷ 確認画面で「はい」を選ぶ

詳細画面

詳細画面の表示のしかたは、YouTube リスト画面（P101）で「詳細」を選んでください。

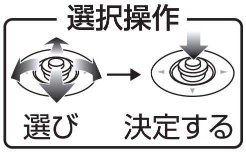


A	**チャンネル登録** コンテンツの投稿者を「登録チャンネル」リストに登録できます。ログインしたあと、分類画面で「マイアカウント」を選んで再生してください。
B	**お気に入りに追加** 「実行」を選んで追加すると、お気に入りに登録した動画だけをリストで管理できます。ログインしたあと、分類画面で「マイアカウント」を選んで再生してください。
C	**再生リストに追加** 再生リストを作成できます。 ● 再生リストの作成には、あらかじめブラウザで設定が必要です。
D	**閉じる** 詳細画面を閉じ、通常のリスト画面に戻ります。
E	**評価** 動画を評価できます。評価を選び、「確認」を選んでください。
F	**フラグ** 不適切な動画を報告することができます。内容を選び、「報告」を選んでください。

ホーム画面の壁紙を変更する

あらかじめ本機に内蔵されている壁紙から選ぶことができます。

準備　●ホーム画面を表示しておく（P20）



1 [MENU] ボタンを押す



2 「壁紙」を選ぶ



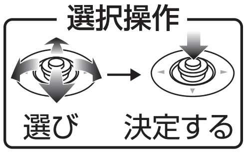
3 壁紙の種類を選ぶ

ロック設定する

ロック設定をすると、スタンバイ状態から復帰したときにロック画面を表示して、解除しないとボタン操作ができないようにします。再生が中断するなどの誤操作防止になり、また、本機をかばんなどに入れて持ち歩くときにボタンが押されて本機が動作するのを防ぎます。
お買い上げ時は「☑」（ロックしない）に設定されています。

1 [HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ

（設定）→ その他の設定



2 「ロック設定」を選び、チェックボックスにチェックを入れる

☑：ロック設定する　☑：しない

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、[RETURN] ボタンを押してください。

お知らせ

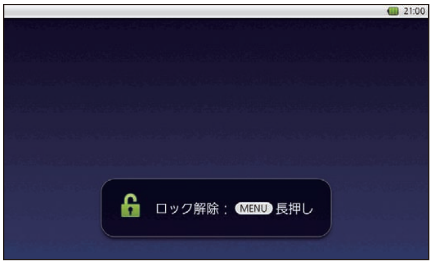
- ロック設定をしていても、音楽や radiko.jp を聴いているときは音量調節することができます。

■ロックを解除する

電源を入れたときやスタンバイ状態から復帰したときなど、画面を点灯させたときにロック画面が表示されます。下記の操作でロックを解除してください。

画面が切り換わるまで
[MENU] ボタンを押したままにする

ロック画面

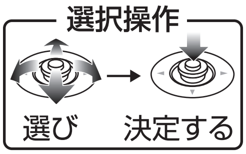


充電の設定をする（エコ充電）

通常充電にするか、エコ充電にするかを設定します。
お買い上げ時は「通常充電」に設定されています。

通常充電： 100% の充電になり、1 回の充電で長時間使用したい場合に向いています。
エコ充電： 90% の充電で充電完了になり、電池寿命（充電回数）を長持ちさせたい場合に向いています。（電池持続時間は通常充電の 90% になります（P130））

1 [HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ



（設定）→ その他の設定 → エコ充電設定

2 「通常充電」または「エコ充電」を選ぶ

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、[RETURN] ボタンを押してください。

■充電時間と充電回数

	通常充電	エコ充電
充電時間※	約 7 時間	約 8 時間
充電回数	約 500 回	通常充電時の約 2 倍

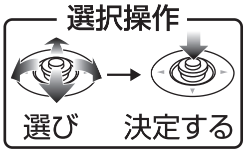
※ 周囲温度 25 ℃で充電時
電池を使い切った状態で、電源「切」もしくはスタンバイ状態で充電時

電池持続時間については P130

詳細操作ガイドを SD カードへコピーする

詳細操作ガイド（PDF ファイル）を SD カードへコピーします。

準備　●本機に SD カードを入れておく（P13）



1 [HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ

（設定）→ その他の設定 → 取扱説明書のコピー



2 確認画面で「OK」を選ぶ

●完了画面が表示されたら「OK」を選んでください。

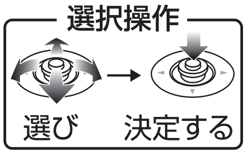
◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、[RETURN] ボタンを押してください。

日時設定を変更する

日付と時刻を正しく設定してください。正しく設定されていないと、ワンセグテレビ放送の予約録画が正しく行われなかったり、YouTube が正しく表示されないことがあります。

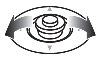
1 [HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ



（設定）→ 日付と時刻

2 「日付設定」/「時刻設定」を選び、設定する

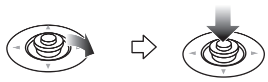
- **「年」「月」「日」と「時」「分」を選ぶ：**
  十字キーを左右に傾ける



- **数字を変更する：**
  十字キーを前後に傾ける



- **「設定」を選ぶ：**
  十字キーを右に傾けて「設定」を選び、中央を押す



◇ 元の画面に戻るには

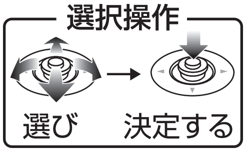
戻りたい画面になるまで、[RETURN] ボタンを押してください。

お知らせ

- 日時設定できる範囲は 2000 年 1 月 1 日から 2037 年 12 月 31 日までです。
- 本機はワンセグテレビ放送を受信すると、自動的に時計が設定されます。ワンセグテレビ放送の時刻は標準時刻とは若干ずれますが、予約録画内容に影響はありません。
- 手動で時計設定をした場合でも、ワンセグテレビ放送を受信すると、ワンセグテレビ放送の時刻に合わせて時刻設定が変更されます。

音の設定をする

音質の設定をする



[HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ

（設定）→ 音質設定 → 希望の設定項目 → 希望の設定内容

設定項目	設定内容　　（※：お買い上げ時の設定）
サウンド設定	聴く音楽や状況に合わせて設定できます。設定を選び、「OK」を選んでください。 ※ **フラット**　**ヘビー**　**クリア**　**ニュース**　**シネマ** **スポーツ**
反響音を抑える	スピーカーで再生するときに、反響音を感じやすい帯域を抑えることによって、室内の壁面などから跳ね返ってくる反響音の影響を低減します。 **：低減する**　※ **：しない**
小声を大きくする	小さな声を聴き取りやすくします。 **オフ**　効果をオフします。 **レベル 1**　小さな声を聴き取りやすくします。 ※ **レベル 2**　レベル 1 よりさらに小さな声を聴き取りやすくします。 ●「（音楽）」を起動しているときは「小声を大きくする」の設定は反映されません。

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、[RETURN] ボタンを押してください。

操作音の設定をする

（お買い上げ時は「」（鳴らさない）に設定されています）

1 [HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ

（設定）→ その他の設定

2 「操作音」を選び、チェックボックスにチェックを入れる

：操作音を鳴らす　　：鳴らさない

◇ 元の画面に戻るには

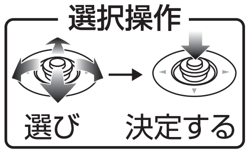
戻りたい画面になるまで、[RETURN] ボタンを押してください。

画面設定をする

画面の明るさや画質などを設定します。

1 [HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ

（設定）→ 画面設定



2 設定したい項目を選ぶ

設定項目	設定内容　（※：お買い上げ時の設定）
画質モード	**スタンダード**　標準の画質モード **※ダイナミック**　明暗がはっきりしたメリハリのある画質モード **ソフト**　目にやさしい画質モード
コントラスト自動調整	視聴している画像の明暗に応じて液晶モニターの明るさを自動で調整します。 ※ ☑：**自動調整する**　☐：**しない** ● 設定は「（ワンセグ）」を起動しているときのみ効果があります。
画面の明るさ	「⊕」「⊖」を選び、十字キーの中央を押して明るさを調整します。調整し終わったら[OK]を選んでください。 
バックライト消灯	音楽再生中や radiko.jp を聴いているときに、画面照明の点灯時間を設定します。設定した時間、本機を操作しないでいると画面を消灯します。 画面が消灯するまでの時間を選んでください。 **30 秒**　**1 分**　**3 分**　**5 分**　**※ 10 分**　**常時点灯**

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、[RETURN] ボタンを押してください。

戻る

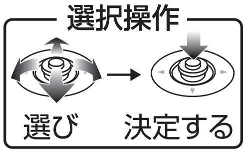
本機の設定をお買い上げ時の設定に戻す

本機の設定や、ワンセグテレビのチャンネル設定などをお買い上げ時の状態に戻します。

- 録画予約や当社製レコーダーのファイルを自動的に本機に転送されるように「かんたん転送」を設定している場合は、これらの予約や設定も取り消されます。
- お買い上げ時の設定に戻すには、本機の内蔵メモリー（ユーザー領域）に 40 MB 以上の空き容量が必要です。

空き容量を確認する ☞P113

準備 ●AC アダプターと接続しておく（P15）



1 [HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ

（設定）→ その他の設定 → 設定の初期化



2 「設定の初期化を実行」を選ぶ

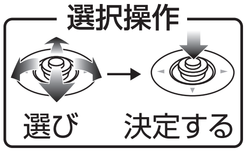
3 「はい」を選ぶ

画面が消灯し、本機が再起動します。

4 初期化完了のメッセージが表示されたら、[-POWER] ボタンを押して電源を切る

内蔵メモリーやSDカードをフォーマットする

内蔵メモリー（SD カード）をフォーマットすると、内蔵メモリー（SD カード）内のデータが消去されます。



1 [HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ

（設定）→ SD カードと端末容量 →
内蔵メモリーをフォーマット または SD カードをフォーマット

- SD カードをフォーマットする場合は､「SD カードのマウント解除」を選んでから「SD カードをフォーマット」を選んでください。

2 確認画面が表示されるので、「内蔵メモリーをフォーマット」または「SD カードをフォーマット」を選ぶ

本機を廃棄や譲渡する前に内蔵メモリーをフォーマットする場合
「完全消去」にチェックを入れてから「内蔵メモリーをフォーマット」を選んでください。（この場合、フォーマット完了までに数十分かかります）
- 完全消去する場合は、AC アダプターに接続しておいてください。（P15）

3 確認画面が表示されるので、「すべて消去」を選ぶ

4 完了画面で「OK」を選ぶ

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、[RETURN] ボタンを押してください。

■SD カードのマウント（読み書き可能状態）を解除する

SD カードをフォーマットする場合や取り外す場合にマウント解除します。
次の順で選んでマウント解除してください。

（設定）→ SD カードと端末容量 → SD カードのマウント解除

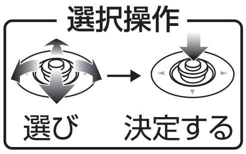
お知らせ
- 電池残量表示が「　」になっているときは、フォーマットできません。

本機の情報を見る

メモリーの容量を確認する

メモリーの容量（SD カード、内蔵メモリー、システム領域※）を確認できます。
※システム領域にはアプリケーションの管理データを保存します。

[HOME] ボタンを押して次の順で選び、容量を確認する



（設定）→ SD カードと端末容量

- **SD カード**　　　　　　　　　　：合計容量、空き容量
- **内蔵メモリー（ユーザー領域）**：合計容量、空き容量
- **内蔵メモリー（システム領域）**：空き容量

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、[RETURN] ボタンを押してください。

本機の情報を確認する

本機の情報を確認できます。

[HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ

（設定）→ 端末情報 → 希望の確認項目

確認項目

- Wi-Fi MAC アドレス
- 法的情報
- 技術適合認証番号
- ファームウェアバージョン

◇ 元の画面に戻るには

戻りたい画面になるまで、[RETURN] ボタンを押してください。

本機をアップデートする

本機を最新のファームウェアに更新することができます。
無線 LAN 接続している場合は、アップデートファイルが公開されると本機にお知らせ画面が表示されます。画面の指示に従って更新してください。

最新のファームウェアは以下の 2 通りの方法で取得できます。

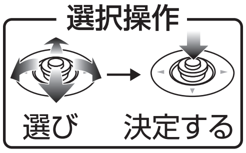
- 無線 LAN 接続してネットワークからアップデートファイルをダウンロード
- パソコンを使ってサポートサイトからアップデートファイルをダウンロード

- アップデートには、本機の内蔵メモリー（ユーザー領域）に約 150 MB の空き容量が必要です。（アップデートファイルの容量により、必要な空き容量が増減する場合があります）

空き容量を確認する P113

■無線 LAN 接続してネットワークからダウンロード

準備
- インターネット接続されたルーターに無線 LAN 接続しておく（P80）
- AC アダプターと接続しておく（P15）



1 **[HOME] ボタンを押して次の順で選ぶ**

（設定）→ ファームウェア更新 → ネットワークからの更新

アップデートファイルがあるかを確認します。

2 **確認画面で「はい」を選ぶ**

アップデートファイルのダウンロードを開始します

3 **完了画面で「OK」を選ぶ**

画面が消灯し、本機が再起動します。

4 **アップデート完了画面が表示されたあと、[-POWER] ボタンを押す**

お知らせ

- アップデートの内容についてはサポートサイト（http://panasonic.jp/support/）をご覧ください。
- （設定）→ その他の設定 → ファームウェア更新から更新することもできます。

次のページに続く

戻る

■パソコンを使ってサポートサイトからダウンロード

サポートサイトからパソコンにダウンロードしたアップデートファイルを SD カード※に転送してアップデートします。

※アップデートには、SDカードまたはSDHCカードを使用してください。(SDXCカードには対応していません)

アップデート方法については下記サポートサイトをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/

こんな表示が出たら

下表は主な確認 / エラーメッセージの例です。

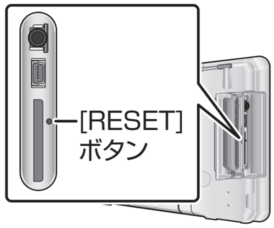
表示	原因・対策
最新ファームウェアに更新できます。 更新を実行しますか？ ※外部電源を接続して実行してください。 外部電源を接続できない場合は［あとで更新］を選択してください。	● 無線 LAN 接続している場合は、アップデートファイルが公開されると本機にお知らせ画面が表示されます。 すぐに更新する場合は、AC アダプターを接続してから（P15）「今すぐ更新」を選んで画面の指示に従って操作してください。 あとから更新する場合は、「あとで更新」を選んでください。 更新するときは、114 ページをお読みください。
最新ファームウェアをダウンロードできませんでした。 以下の内容を確認して再度実行してください。 - ネットワーク接続を確認してください。 - 内蔵メモリーの空き容量を確認してください。 約 150 MB の空き容量が必要です。	● 本機がネットワーク接続できていない可能性があります。ご使用の無線 LAN 環境をご確認ください。 パソコンを利用して、サポートサイト (http://panasonic.jp/support/) から最新のファームウェアを SD カードにダウンロードし、本機をアップデートすることもできます。 ● 内蔵メモリーの空き容量を確認するには 113 ページをお読みください。内蔵メモリーの空き容量が不足している場合は、不要なデータを消去するなどして、空き容量を増やしてから、再度ファームウェアのダウンロードを実行してください。
ワンセグ動作が開始されたので、Wi-Fi をオフにしました。	● ワンセグテレビを視聴中や録画中は、Wi-Fiオフになり無線LANの利用はできません。（テレビ視聴をやめてホーム画面に戻ると自動的に Wi-Fi オンになりますが、切り換わるのに数秒かかる場合があります）
現在、受信できません。 窓際など受信状態のよい場所で 受信可能か、ご確認ください。 (E202)	● 電波状況が悪いため、映像を表示することができません。受信できる状態になると、自動的に映像を表示します。
電池残量が残りわずかになったので、 Wi-Fi をオフにしました。	● 電池残量が少なくなると自動的に Wi-Fi オフになります。電池残量表示が「」以上の状態にしておくか、AC アダプターと接続してから（P15）、再度 Wi-Fi オンに設定してください。（P80）
電池残量不足のため 実行できません。 外部電源をご使用ください。	● 電池残量表示が少ない場合は実行できない操作です。電池を十分に充電するか（P16）、ACアダプターを接続してから（P15）操作してください。
電池が故障している 可能性があります。 修理窓口にご相談ください。※	● 故障の可能性があります。お近くの「修理ご相談窓口」にお問い合わせください。
外部電源の電圧が異常です。 故障の可能性がありますので 修理窓口にご相談ください。※	● 故障の可能性があります。お近くの「修理ご相談窓口」にお問い合わせください。
本機の温度が高いため 動作を継続できません。 常温でご使用ください。※	● 周囲温度 0 ℃～ 40 ℃でご使用ください。

※動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅し、電池残量表示が「」に変わります。

故障かな !?

まず、下表でご確認ください。直らない場合は、お近くの「修理ご相談窓口」またはお買い上げの販売店へお問い合わせください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけないようにお気をつけください。故障や誤動作の原因になります。

こんなときは	ここを確かめてください
電源が入らない **操作できない** **電源が切れない**	● 電池が消耗していませんか？（P21） → 電池を十分に充電するか（P16）、AC アダプターを接続して（P15）操作してください。 ● クリップのようなものを使って [RESET] ボタンを押してください。（本機に SD カードが入っている場合は、SD カードを抜いてから押してください） [RESET] ボタンを押しても症状が直らない場合は、お近くの「修理ご相談窓口」にお問い合わせください。 
充電できない **充電しても電池持続時間が短い**	● 周囲の温度が極端に低いまたは高くありませんか？ → 電池の充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。 ● スタンバイ状態で AC アダプターに接続した場合、動作表示ランプが点灯するまでに数十秒かかることがあります。1 分以上経過しても点灯しない場合は [RESET] ボタンを押してください。 ● 電源を切った状態でパソコンと接続して充電する場合、接続しても本機の動作表示ランプが点灯しなかったり点滅して、充電できない場合があります。一度 USB 接続ケーブルを抜き差しするか、[RESET] ボタンを押してください。 ● はじめての充電や長時間未使用後の充電では電池持続時間が短いことがあります。何回か使用すると戻ります。 ● 充電しても電池持続時間が極端に短い場合は、電池の寿命です。電池の交換は、お近くの「修理ご相談窓口」にお問い合わせください。 ● SD カードによっては、電池持続時間が極端に短い場合があります。当社製 SD カードでお試しください。
本機がSDカードを認識しない（SDカードのフォーマットがサポート外のときなど）	● Windows標準のフォーマット機能などでSDカードをフォーマットしませんでしたか？ → 本機でフォーマットしてください。（P112） ● 当社製 SD カードを本機に入れてお試しください。
本体が熱い	● 使用中や充電中は多少熱くなりますが異常ではありません。
文字入力できない画面なのにキーボードが表示される	● [MENU] ボタンを押したままにするとキーボードが表示されることがあります。異常ではありませんので [RETURN] ボタンを押してキーボードを閉じてください。

次のページに続く

戻る

こんなときは	ここを確かめてください
アプリケーションが起動できなかったり、動作が不安定になる	● 一度電源を切り、再度電源を入れ直してください。（P17、18）
音が急に小さくなった	● 本機の底面に水滴がたまっていたり、じゅうたんなどの上に置いた場合、スピーカー（音孔）がふさがれて音が小さくなっている可能性があります。本機の置き場所を変えてご使用ください。
画面が消灯する	● 音楽再生中やradiko.jpを聴いているときは、一定時間操作しないでいると「バックライト消灯」の設定に従って画面が消灯し、スタンバイ状態（P17）になります。一定時間の設定のしかたについては110ページをお読みください。
ビデオや音楽の再生がとぎれる	● 本機で再生できるファイルですか？（P46） ● 録画中や転送中など他の処理が実行されているときは、再生がとぎれたり正常に再生できない場合があります。録画や転送が終了してから再生してください。（録画中や転送中は動作表示ランプが約1秒間隔で点滅します） ● Wi-Fiやネットワークの通信速度が低下すると、「(YouTube)」「(DIGA)」「(ネットワークメディアプレーヤー)」での動画再生がとぎれることがあります。
ビデオ、音楽（「SD-Audio」が表示される音楽）が停止する	● 予約録画が実行されていたり、DLNA対応機器からのファイル転送が実行されていませんか？ → 録画先（転送先）と同じメモリー内のファイルは、再生や編集できない場合があります。
パソコンが本機を認識しない ファイルを本機に正常に転送できない	● パソコンの電源は入っていますか？ ● 本機の電源は入っていますか？（P17） ● Windows Media Playerのバージョンが10以下ではありませんか？ → パソコンと接続して本機を使用するには、Windows Media Playerのバージョンを11以降にアップデートしてください。 ● 一度、USB接続ケーブルを抜き差しして、接続先メモリー選択画面で接続先を選び直してください。（P48） ● 本機と接続するパソコンのUSB端子を変更してください。 ● スタンバイ状態から復帰していますか？（P17） **ファイルを転送する場合** ● 本機の内蔵メモリーやSDカードの容量が不足していませんか？（P113） ● 著作権保護された再生制限（期間や回数など）のあるファイルは本機に転送できない場合があります。制限については配信元にご確認ください。
パソコンから内蔵メモリーに転送するのに時間がかかる	● フォルダー内に多くのファイルが入っている場合、転送速度が低下することがあります。
今まで見ていたチャンネルを受信できなくなった	● 放送局側で放送の送信周波数が変更される場合があり、変更されるとそのままのチャンネル設定では受信できなくなります。チャンネル設定し直してください。（P29）この場合地域や都道府県を選んだあと、「次へ」を選んでスキャンしてください。 （録画予約をしていた場合は再度予約し直してください）

次のページに続く

こんなときは	ここを確かめてください
録画ができていない	● 以下の場合は録画ができない、もしくは正しく録画がされません。 - 電池残量表示が「 」になっているときや、電池残量がなくなった場合 - 内蔵メモリーの空き容量がない場合 - SD カードの空き容量が少ない場合 - 電波状況が悪い場合 - 番組の開始時刻が変更された場合 - 時計が正しく設定されていない場合 - 予約録画の時間が重なっている場合
予約録画した番組の最後の部分が録画されていない	● 前の予約番組の終了時刻と次の予約番組の開始時刻が同じときは、前の予約番組の終わり約 30 秒間が録画されません。
SD カードにビデオファイルを 99 番組まで録画することができない	● 他機器やパソコンでビデオファイルの消去や SD カードのフォーマットをしていませんか？ → 本機でフォーマットしてください。(P112)
録画した番組が正常に再生されない	● 本機で再生できるビデオファイルですか？（P46） ● 本機での再生に対応した機器を使って録画してください。(P45) ● 録画中に電波状況が悪くなると、画面が乱れた状態で録画されます。また、電波状況が悪くて受信できない区間があった場合、この区間は録画されないので、再生するとこの区間をとび越して再生されます。
パソコンから転送したファイルの再生ができない	● 著作権保護されたファイルの場合、ドラッグ & ドロップで転送したファイルは再生できません。Windows Media Player を使って転送してください。
1 曲目から順番に再生しない	●「ランダム設定」が「オン」になっていませんか？（P66） ● レジューム機能が働いていませんか？（P66）
アルバム名や曲名など、音楽の情報が更新されない	● 音楽ファイルのアーティスト名、アルバム名、曲名などの情報をパソコンで編集しても本機で更新されない場合があります。この場合、変更したファイルが含まれるフォルダーのフォルダー名を変更してみてください。変更したフォルダー以下のすべてのファイルの情報が更新されます。 (「SD_VIDEO」「SD_AUDIO」「DCIM」のフォルダー名は変更しないでください。本機や他の機器で正しく認識できなくなります。)
写真をシングル表示したときに画像が粗い	● シングル表示画面はサムネイルの拡大画像を一時的に表示後、主画像の写真を表示します。このため、一覧画面から写真を選んでシングル表示したときやシングル表示で画像を切り換えたときは、画像の粗い写真が表示される場合があります。
パソコンから転送した写真の日付が変更されている	● Exif に対応していない写真の場合は更新日(写真を本機の内蔵メモリーに転送した日やパソコンなどで編集した日）が表示されます。 Exif：(社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマット

次のページに続く

戻る

こんなときは	ここを確かめてください
無線 LAN に接続できない 電波がとぎれる	● Wi-Fi 設定がオフになっていませんか？ → 設定をオンにしてください。（P80） ● 電池が消耗していませんか？電池残量が少なくなると自動的に Wi-Fi オフになります。 → 電池残量表示が「」以上の状態にしておくか、AC アダプターと接続してから（P15）操作してください。 ● 無線 LAN ネットワークの通信圏外ではありませんか？ → 電波強度を確認し（P21）、通信圏内でご使用ください。 ● ワンセグテレビが起動していませんか？ → ワンセグテレビを視聴中や録画中は無線 LAN に接続できません。 ● テレビ視聴をやめてホーム画面に戻った直後や電源を入れたりスタンバイ状態から復帰した直後ではありませんか？ → Wi-Fi 設定がオンに切り換わるのに数秒かかる場合があります。 ● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）により接続方式やセキュリティの設定方法が異なります。 → 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書または設定した管理者にご確認ください。 ● 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーとテレビなど DLNA 対応機器どうしを無線 LAN 5 GHz 帯で接続中ではありませんか？ → 5 GHz/2.4 GHz 同時使用できる無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）を使用しているかご確認ください。対応していない場合は本機と同時使用できません。 ● 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？ → 同時に使用された場合、電波がとぎれることがあります。機器から離してご使用ください。 ● 電波がとぎれる場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の置き場所や角度を変えると電波状態が良くなる場合があります。 ● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のネットワーク SSID が非通知設定の場合、自動接続できない場合があります。下記をお試しください。 → 一度 Wi-Fi オフにしてから、再度 Wi-Fi オンにしてください。（P80）または無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のネットワーク SSID の非通知設定を解除してお使いください。
接続したい無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が検出されない	● 電波状況により無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が見つからない場合があります。 →「スキャン」を行ってください。（P82） ● 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）のネットワーク SSID が非通知に設定されていませんか？ → 非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワーク SSID を入力して設定してください。（P82）

次のページに続く

戻る

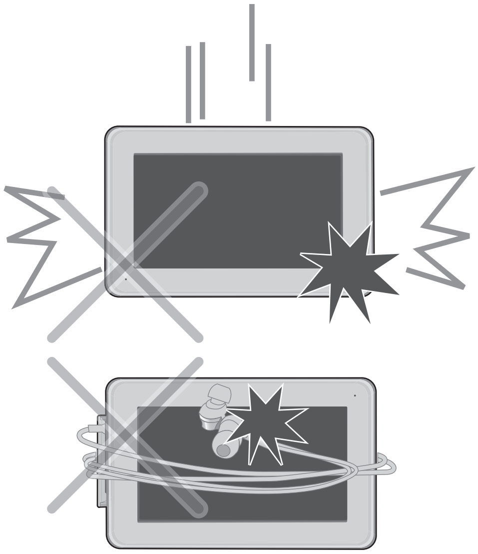
こんなときは	ここを確かめてください
本機の画面に無線 LAN 接続中の電波状態（「 」）が表示されているが、インターネットに接続できない	● ワイヤレスネットワーク構成機器（アクセスポイント、ルーター、ハブなど）との接続や設定は正しくされていますか？ →ネットワーク管理者に確認してください。 ● 接続先サーバーの状況などにより接続できないことがあります。 →しばらくしてから接続し直してください。
当社製レコーダーと無線 LAN 接続してテレビやビデオファイルが見られない、転送できない	● レコーダーは本機能に対応していますか？（P85） ● 本機およびレコーダーは同一のルーターに接続されていますか？（P80） →レコーダーのお部屋ジャンプリンク（DLNA）の設定についてはレコーダーの取扱説明書をお読みください。 ● レコーダーが再生中や録画中などの場合は、本機でテレビやビデオファイルが見られなかったり、ファイルの転送ができない場合があります。（P86）
無線 LAN 接続して見ているテレビやビデオの再生がとぎれる	● 他のDLNA対応機器から無線LAN接続で本機にファイルを転送中ではありませんか？ →複数の DLNA 対応機器と無線 LAN 接続して同時に使用すると、映像や音声がとぎれることがあります。本機は、1 台の DLNA 対応機器と接続してご使用ください。
radiko.jpを聴いていないのに、ステータスバーに「 」が表示されたままになっている	● radiko.jp を終了するときは [RETURN] ボタンを押して「終了」を選んでください。radiko.jp の画面からホーム画面に戻ったり他のアプリケーションを起動しても radiko.jp は終了していないため、ステータスバーにアイコンが残ります。
radiko.jp を起動しても再生されない	● 日付と時刻は正しく設定されていますか？（P108） →日付と時刻が正しく設定されていないと起動しない場合があります。 ● radiko.jp が停止されていませんか？ →radiko.jp の画面上の再生ボタンを選んで再生してください。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
地上デジタル放送（ワンセグ）を視聴するのに利用料金はかかるか？	本機での地上デジタル放送（ワンセグ）の視聴については、従来のアナログ放送と同様、NHK の受信料以外の利用料金はかかりません。(2011 年 3 月現在) 詳しくは下記ホームページをご覧ください。 社団法人 デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp
どの機器で録画した番組を再生できるか？ レコーダーなどの他機で録画した番組を本機で再生できるか？	当社製テレビやレコーダーで録画した録画番組を再生できますが、対応していないものもあります。対応機種については 45 ページをお読みください。 当社製お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーについては 85 ページをお読みください。
どんな SD カードが使えるか？	対応 SD カードについては 126 ページをお読みください。
どんなビデオファイル、音楽を再生できるか？	本機で再生できるファイル形式については 46 ページをお読みください。
ドラッグ & ドロップで転送できないファイルはどうしたらいいか？	本機の内蔵メモリーに直接ドラッグ & ドロップしても転送できない場合があります。 本機に対応しているファイル形式 (P46) で転送できない場合は、Windows Media Player を使って転送してください。(P51)
使用できる Windows Media Player のバージョンは？	Windows Media Player でファイルの転送をするには Windows Media Player のバージョン 11 以降が必要です。 Windows Media Player 10 以前のバージョンでは、正しく転送できない場合があるので、Windows Media Player をバージョン 11 以降にアップデートしてご使用ください。
音楽の消去はどうしたらよいか？	本機で音楽の消去はできません。パソコンなどで消去してください。 「SD-Audio」のある音楽については当社製ステレオシステムや当社製ソフトウェア（SD-Jukebox）などを使って消去してください。詳しくは、音楽を転送した商品の取扱説明書をお読みください。
製造番号はどこにあるか？	本体スタンドを開いたところにあります。(P11)
お部屋ジャンプリンク（DLNA）対応レコーダーと無線で接続して、SD カードに転送したファイルを他機で再生できるか？	本機以外の機器での再生には対応していません。(ファイルが転送された SD カードを転送元のレコーダーに挿入した場合も再生できません) (2011 年 3 月現在)
radiko.jp からウェブページを見ることができるか？	本機はウェブブラウザを搭載していませんので、リンク先のウェブページを見ることはできません。

使用上のお願い

本機について



- **本機を落としたり、ぶつけたりしないでください。また、本機に強い圧力をかけないでください。**
  - 強い衝撃が加わると、液晶モニターや外装ケースが壊れ、故障や誤動作の原因になります。
  - 本機を入れたかばんを落としたり、ぶつけたりすると、本機に衝撃が加わりますのでお気をつけください。
  - ヘッドホンを本機に巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。液晶モニターの破損につながります。
- **浴室など湿気の多い場所に放置しないでください。**
- **IH クッキングヒーターの上に置かないでください。**
  本機や IH クッキングヒーターが故障する原因になります。
- **スピーカーの底面や側面の穴（音孔）に異物を入れないでください。**
  異物で音が小さくなったり、ひずむなど故障の原因になります。またスピーカーが破損することがあります。

お手入れ

本機の電源を切ってから（P18）乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。AC アダプターをご使用の場合は AC アダプターを抜いてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた柔らかい布のようなものでふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤、浴室 / 浴槽洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。

次のページに続く

戻る

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。
これらの点は、内蔵メモリーや SD カードの映像には記録されませんのでご安心ください。

- 液晶モニターのお手入れは、乾いた柔らかい布のようなもの（眼鏡ふきなど）でふいてください。乾いた布で強くこすると液晶モニターに傷が付くことがありますのでお気をつけください。

内蔵電池について

充電環境
充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。温度が低いまたは高いときは、充電にかかる時間が長くなったり、充電できない場合があります。この場合、動作表示ランプが約 0.5 秒間隔で点滅します。

■上手にお使いになるには

以下の使いかたをすることにより、電池寿命（充電回数）が長持ちします。

- エコ充電設定を「エコ充電」にして充電してください。(P106)
- 長期間使用しない場合は、定期的に（約 1 カ月に一度）充電してください。

次のページに続く

AC アダプターについて

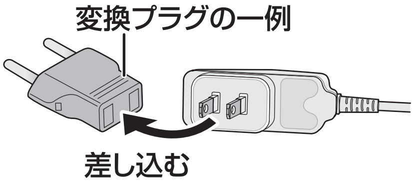
機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

- 必ず、付属の AC アダプターをお使いください。
- 使用後は、必ず AC アダプターを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.05 W の電力を消費しています）
- AC アダプターの端子部を汚さないでください。

AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、電源電圧（100 V ～ 240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。



充電のしかたは、国内と同じです。AC アダプターは日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での一時的な使用は問題ありません。

- ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

次のページに続く

SD カードについて

SD カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- SD カードが破壊される恐れがあります。また、SD カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■本機で使用できる SD カード（2011 年 3 月現在）

SD メモリーカード /miniSD カード※ / microSD カード※	SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされたもの
SDHC メモリーカード /microSDHC カード※	SD 規格に準拠した FAT32 形式でフォーマットされたもの
SDXC メモリーカード	SD 規格に準拠した exFAT 形式でフォーマットされたもの

※本機で使用する場合は、必ず専用のアダプターに装着してお使いください。

- 本機はSDXC対応機器（SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカードに対応した機器）です。SDHC メモリーカード /SDXC メモリーカードを他の機器で使う場合は、各メモリーカードに対応しているか確認してください。
- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- 4 GB ～ 32 GB のカードは SDHC ロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
- 48 GB、64 GB のカードは SDXC ロゴのある（SD 規格準拠）カードのみ使用できます。
- SD カードによっては、電池持続時間が極端に短くなる場合があります。当社製の SD カードをお使いになることをおすすめします。
- SD カードをご購入後はじめて使用される際は、本機で SD カードをフォーマット（P112）することをおすすめします。
- SD カードのスピードクラス（連続的な書き込みに関する速度規格）に関係なく、上記の SD カードを使用できます。
- マルチメディアカードは使用できません。
- 対応記録メディアの詳細は 128 ページをお読みください。

次のページに続く

本機廃棄時の電池の取り出しかた

ご使用済み製品の廃棄の際は、本機の内蔵メモリーのデータを「完全消去」でフォーマットし（P112）、「設定の初期化」を行ってください。（P111）データを完全に消去したあと、本機に内蔵している電池を取り出して電池のリサイクルにご協力ください。

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

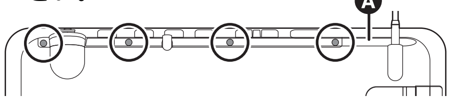
- **この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。**

- 電池を使いきってから分解してください。
- ドライバーを使い、以下の手順で分解してください。（ドライバーは付属していません）
- 上手に取り出せない場合、「お客様ご相談センター」へお問い合わせください。

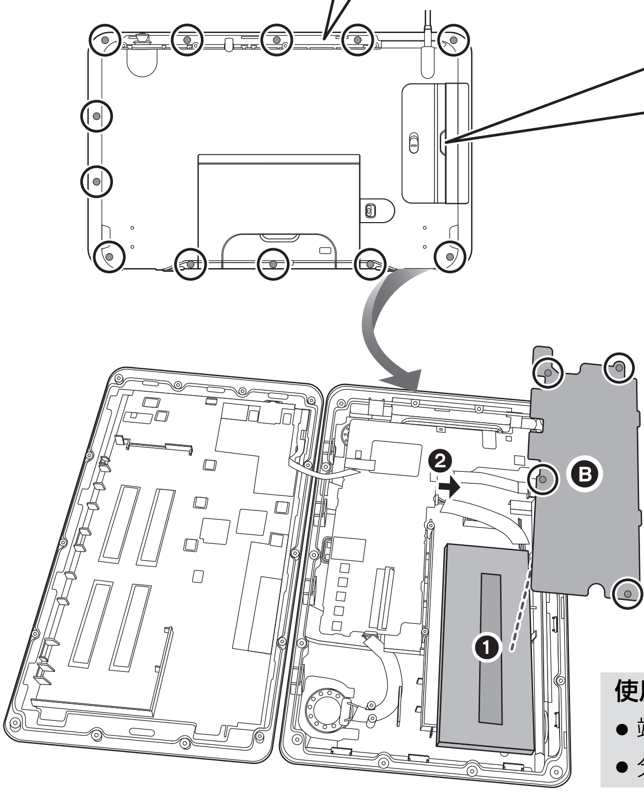
分解した部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

1 アンテナを立てる

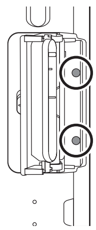
2 本機裏面上部のねじを外し（4本）、Ⓐを外す
- ねじを外すには、プラスドライバーをお使いください。



3 ねじを外す（12本）



4 カード / 端子ふたを開ける

5

ふたを開けたところのねじを外す（2本）

6 アンテナを戻す

7 本機裏面を開ける

8 本機裏面の Ⓑ のねじを外す（4本）

9 電池を取り出す
❶ 電池を持ち上げる
❷ コードを持って引き抜き、電池を取り出す

使用済み充電式電池の取り扱いについて
- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

仕様

電源	DC 3.7 V（内蔵電池使用時）/ DC 5 V、1 A（AC アダプター使用時）
消費電力	4.0 W

充電時間（周囲温度 25 ℃で充電時）		通常充電：約 7 時間 エコ充電：約 8 時間 ● 充電は周囲温度 5 ℃～ 35 ℃で行ってください。
推奨動作温度		0 ℃～ 40 ℃
液晶ディスプレイ（アスペクト比 16:9）		7V 型 （V 型は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です） 画素数：横 800 ×縦 480
画面寸法		幅 153.6 mm、縦 86.64 mm、対角 176.35 mm
スピーカー		300 mW+300 mW（8 Ω）
接続端子	**ヘッドホン端子**	3.0 mW+3.0 mW（16 Ω 時） ∅3.5 mm ステレオミニジャック
	USB 端子	USB 2.0（High Speed）
本体寸法		幅 201.5 mm ×高さ 125.7 mm ×奥行き 20.1 mm（突起部除く）
最大外形寸法		幅 201.5 mm ×高さ 126.7 mm ×奥行き 24.7 mm（JEITA） 幅 201.5 mm ×高さ 124.4 mm ×奥行き 56.6 mm（本体スタンド使用時）
質量		約 494 g
防水		保護等級：IPX6/IPX7 相当
内蔵メモリー		4 GB（うちユーザー使用可能領域：約 3.1 GB）
対応記録メディア		SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB） SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB） SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB）

テレビ / 録画

ワンセグテレビ放送を視聴することができるのは、日本国内のみです。

受信チャンネル	地上デジタルテレビ放送 1 セグメント部分受信サービス（ワンセグ）： UHF13 ch ～ 62 ch（データ放送、緊急警報放送受信非対応）
最大連続録画時間	8 時間（AC アダプター使用時）
最大録画番組数	SD カード容量にかかわらず 1 枚あたり 99 番組 内蔵メモリー：4095 番組
予約録画番組数	最大 12 番組
録画ファイル形式 / 画質	SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile）準拠 / 320 × 240 15 fps（412 kbps）

次のページに続く

ビデオ

下記を満たす場合でも、条件により正常に再生できないことがあります。

コーデック	H.264（Baseline）、MPEG-4（Simple）、WMV
画角	最大 720 × 480
ビットレート	最大 4 Mbps
SD Video	H.264/ISDB-T Mobile Video Profile（CPRM 対応）

音楽

下記を満たす場合でも、条件により正常に再生できないことがあります。

サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
再生の圧縮 / 伸張方式	AAC 方式、MP3 方式、WMA 方式
チャンネル数	2 ch、ステレオ

写真

下記を満たす場合でも、条件により正常に再生できないことがあります。

再生可能ファイル形式	JPEG ベースライン方式、DCF 準拠、Exif2.2 準拠

無線 LAN

規格	IEEE802.11g/IEEE802.11b 準拠
伝送方式	OFDM 方式、DSSS 方式
周波数範囲 / チャンネル（中心周波数）	2.412 GHz ～ 2.472 GHz/1 ～ 13 ch
データ転送速度（規格値※1）	IEEE802.11g：最大 54 Mbps、IEEE802.11b：最大 11 Mbps
アクセス方式	インフラストラクチャモード
セキュリティ	WPA™/WPA2™（暗号化方式：TKIP/AES、認証方式：PSK） WEP（64 bit/128 bit）

※1　理論上の速度であり、ご使用環境や接続機器などにより実際の通信速度は異なります。

次のページに続く

戻る

電池持続時間

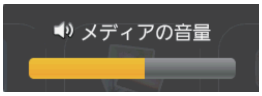
画面の明るさ

最小  最大

- 画面の明るさを設定するには110ページをお読みください
- 右記時間は、通常充電で充電した場合です。エコ充電で充電した場合の電池持続時間は、通常充電時の約90%の時間となります。

	明るさ：最小	明るさ：最大
ワンセグ	約7時間	約3時間30分
テレビを録画する	約6時間30分	約3時間30分
ビデオ	約9時間	約3時間30分
音楽	約45時間	約45時間
写真	約9時間30分	約3時間30分
YouTube	約5時間30分	約2時間

（電池持続時間測定条件）

ワンセグ	放送波受信、アンテナ受信感度：高感度、コントラスト自動調整：設定する、小声を大きくする：レベル2
テレビを録画する	視聴録画時、録画先メモリー：内蔵メモリー、アンテナ受信感度：高感度、小声を大きくする：レベル2
ビデオ	再生ファイル形式:ワンセグビデオ(SD-VIDEO)、小声を大きくする:レベル2、Wi-Fiオフ
音楽	再生ファイル：ビットレート96 kbpsのMP3、画面消灯時、Wi-Fiオフ
写真	写真のみ再生時、Wi-Fiオフ
YouTube	画質：240 p、小声を大きくする：レベル2、Wi-Fiオン
共通の設定	画質モード：ダイナミック、サウンド設定：フラット、反響音を抑える：設定しない、再生ファイル保存先：内蔵メモリー、スピーカー使用 音量位置：

- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

次のページに続く

AC アダプター

入力	AC 100 V－240 V、50/60 Hz、25 VA
出力	DC 5 V　1.2 A

リチウムイオン充電式電池（内蔵）

電圧 / 容量（最小）	DC 3.7 V　2150 mAh

内蔵メモリーへの録画可能時間の目安（ビットレート 412 kbps で算出※2）

約 17 時間

SD カードへの録画可能時間の目安（ビットレート 412 kbps で算出※2）

SD カード容量	録画可能時間
128 MB	約 41 分
256 MB	約 1 時間 20 分
512 MB	約 2 時間 39 分
1 GB	約 5 時間 20 分
2 GB	約 10 時間 51 分
4 GB	約 21 時間 19 分
6 GB	約 32 時間 25 分
8 GB	約 43 時間 24 分
12 GB	約 65 時間 28 分
16 GB	約 87 時間 20 分
24 GB	約 126 時間 49 分
32 GB	約 175 時間 12 分
48 GB	約 257 時間 31 分
64 GB	約 349 時間 28 分

- 無線 LAN で内蔵メモリーや SD カードに転送する場合は、転送できる番組の時間は録画可能時間よりも少なくなります。（録画可能時間の約 4 分の 1）
  例：内蔵メモリーや SD カードの残量表示が 12 時間の場合、約 3 時間の番組の転送が可能
- SDカードにデータが入っている場合は、録画時間は短くなります。

※2 放送局から送信されるビットレート（単位時間あたりの情報量）は、放送局や番組によって異なります。
本機では、ビットレートの大きい番組（412 kbps）を想定して録画可能時間の目安を表示しています。そのため、情報量の少ない番組を録画する場合は、録画可能時間よりも長く録画できます。
例：録画可能時間の表示が 45 分の場合でも、1 時間録画できたなど
（時間の差は録画する番組の情報量によって変わります）

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 本機では、フォントデータの制限により表示できない文字があります。
  （表示できない文字は「_」と表示されます）
- **表示可能文字**　日本語：JIS 第一水準 / 第二水準準拠
- Windows Media Audio 9 (WMA9) 対応（WMA9 の Professional、Lossless、Voice および MBR※3には対応していません）

※3 MBR：Multiple Bit Rate は、1 つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式のことです。

■著作権 / 商標について

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED” ロゴは、“Wi-Fi Alliance” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup のマークは、“Wi-Fi Alliance” の商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2” は “Wi-Fi Alliance” の商標または登録商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
- YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の登録商標です。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権により保護されています。マイクロソフトのライセンスを得ずに、本製品以外で技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
  コンテンツ所有者は、Windows Media デジタル著作権管理技術（WMDRM）によって、著作権を含む知的財産権を保護しています。本製品は、WMDRM ソフトウェアを使用して WMDRM で保護されたコンテンツにアクセスしています。WMDRM ソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツの所有者は WMDRM を使用した保護されたコンテンツのソフトウェアによる再生または複製機能を無効化するようマイクロソフトに依頼する場合があります。無効化は、保護されていないコンテンツに影響するものではありません。保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードする際に、マイクロソフトがライセンスとともに、無効化リストを含める場合があることに同意する必要があります。コンテンツ所有者の要請により、コンテンツにアクセスするために WMDRM のアップグレードが必要な場合があります。アップグレードをしない場合、アップグレードが必要なコンテンツにはアクセスできません。
- 本製品には株式会社アルファシステムズの登録商標である「alpha Media Link」が含まれています。
- この商品に使用されているソフトウェアに関する情報は、ホームの設定メニューから「端末情報」→「法的情報」を選択することで表示されます。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部明記していません。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

さくいん

次のページに続く

戻る

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社
ネットワークシステム事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号

F0311RE2072